

2020 授業科目〈シラバス〉

Okinawa Prefectural University of Arts Syllabus

沖縄県立芸術大学
美術工芸学部

授業科目〈シラバス〉について

この「2020 授業科目〈シラバス〉」は、令和2年度に美術工芸学部で開講される専門教育科目について、各担当教員から提出された授業計画（シラバス）をまとめたものです。

履修計画や年間の学習計画を立てる際に利用してください。

なお、総合教育科目、共通教育科目及び教職に関する科目は別冊となっています。

1. 実技の授業科目は、その多くが複数の実習（課題）で構成されています。この場合、授業科目の頁のあとに実習（課題）ごとのシラバスが記載されていることがあります。
2. 今年度開講する科目のみを掲載しています。
3. 集中講義科目については、単位数・学期欄に（集中）と表記されています。
4. 担当教員名欄の（名）は名誉教授を、（客）は客員教授を、（非）は非常勤講師を表します。
5. ■履修上の留意点には、履修の条件や注意事項のほかに、授業外の学習を含めて履修にあたり心掛けるべき点、学生への要望等が記載されています。
6. その他、本学の授業科目には科目名の末尾に番号等が付されているものがあります。これらは、科目開設の趣旨や性格、また分類上のルールがありますので、入学時に配布された履修案内等を確認してください。

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成30年度以降入学生用)

対象専攻	科目区分	科目コード	授業科目名	単位数	受講年次	学期	授業区分	頁	
絵画	必修主要	21110	絵画基礎	5	1	前	実技	1	
		21112	日本画Ⅰ	6	1	後	実技	7	
		21113	箔	2	1	後	演習	12	
		21213	日本画Ⅱ - Ⅰ	6	2	前	実技	13	
		21214	日本画Ⅱ - Ⅱ	7	2	後	実技	15	
		21312	日本画Ⅲ - Ⅰ	6	3	前	実技	19	
		21313	日本画Ⅲ - Ⅱ	7	3	後	実技	21	
		21314	装丁実習	1	3	前	実技	22	
		21121	油画Ⅰ	7	1	後	実技	24	
		21223	油画Ⅱ - Ⅰ	6	2	前	実技	28	
		21224	油画Ⅱ - Ⅱ	7	2	後	実技	32	
		21322	油画Ⅲ - Ⅰ	7	3	前	実技	36	
		21323	油画Ⅲ - Ⅱ	6	3	後	実技	40	
		21324	染	2	3	後	演習	43	
		21231	絵画特論Ⅰ	2	1	通年	講義	47	
		21331	絵画特論Ⅱ	2	2	通年	講義	48	
		21291	古美術研究	4	2	後期	演習	49	
		必修専攻 専門関連	21132	彫刻(絵)	2	1	前	演習	50
			21133	デザイン(絵)	2	1	前	演習	51
			21209	工芸(絵)	2	2	前	演習	52
		彫刻	必修主要	22110	デッサン	1	1	前	実技
22113	彫刻Ⅰ - Ⅰ			5	1	前	実技	54	
22114	彫刻Ⅰ - Ⅱ			7	1	後	実技	58	
22213	彫刻Ⅱ - Ⅰ			6	2	前	実技	61	
22214	彫刻Ⅱ - Ⅱ			6	2	後	実技	64	
22215	構成			1	2	後	実技	67	
22313	彫刻Ⅲ - Ⅰ			6	3	前	実技	73	
22314	鍛造			1	3	前	実技	76	
22315	彫刻Ⅲ - Ⅱ			6	3	後	実技	77	
22316	鑄造			1	3	後	実技	78	
22231	彫刻特論Ⅰ			2	2	通年	講義	80	
22331	彫刻特論Ⅱ			2	3	通年	講義	81	
22291	古美術研究			4	2	後	演習	82	
必修専攻 専門関連	22121			絵画(彫)	2	1	前	演習	83
	22209	デザイン(彫)	2	2	前	演習	84		
	22341	工芸(彫)	2	3	前	演習	85		
	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1~4	前	講義	休講		
選択専攻 専門関連	22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1~4	前	講義	87		
芸術学	必修主要	23110	素描(芸)	2	1	前	演習	88	
		23114	実技研究(絵画)	3	1	後	実技	89	
		23115	実技研究(表現)	2	1	後	実技	92	
		23113	基礎演習	2	1	後	演習	95	
		23217	学外研究	4	2	後	演習	96	
	必修専攻 専門関連	23151	絵画(芸)	2	1	前	演習	98	
		23152	彫刻(芸)	2	1	前	演習	99	
		23153	デザイン(芸)	2	1	前	演習	100	
		23154	工芸(芸)	2	1	前	演習	101	
	選択主要	23421	美学演習Ⅰ	4	3~4	通年	演習	102	
		23422	美学演習Ⅱ	4	3~4	通年	演習	102	
		23423	芸術学演習Ⅰ	4	3~4	通年	演習	103	
		23424	芸術学演習Ⅱ	4	3~4	通年	演習	103	
		23425	日本美術史演習Ⅰ	4	3~4	通年	演習	104	
23426	日本美術史演習Ⅱ	4	3~4	通年	演習	105			
23427	東洋美術史演習Ⅰ	4	3~4	通年	演習	106			
23428	東洋美術史演習Ⅱ	4	3~4	通年	演習	106			

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成30年度以降入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁	
芸術学	選択主要	23429	西洋美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	107	
		23430	西洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	107	
		23442	芸術文化論演習	4	3～4	通年	演習	108	
		23271	芸術文化論演習B	2	2～4	前	演習	110	
		23431	語学演習A(英語)	4	2～4	通年	演習	111	
		23432	語学演習B(独語)	4	2～4	通年	演習	113	
		23433	語学演習C(仏語)	4	2～4	通年	演習	114	
		23434	語学演習D(伊語)	4	2～4	通年	演習	115	
		23435	原典研究A(古文書)	4	2～4	通年	演習	116	
		23436	原典研究B(漢文)	4	2～4	通年	演習	117	
		23437	原典研究C(ラテン語)	4	2～4	通年	演習	休講	
		23438	美学特講	2	2～4	前	講義	118	
		23439	芸術学特講	2	2～4	後	講義	119	
		23440	東洋美術史特講	2	2～4	前	講義	120	
		23228	日本美術史特講	2	2～4	後	講義	121	
		23441	西洋美術史特講	2	2～4	後	講義	122	
		23227	比較芸術学特講	2	2～4	後	講義	123	
	選択専攻 専門関連	23330	絵画演習A	2	2～3	前	演習	292	
		23331	絵画演習B	2	2～3	後	演習	293	
		23261	彫刻演習A	2	2～3	前	演習	294	
		23262	彫刻演習B	2	2～3	後	演習	295	
		23334	デザイン演習A	2	2～3	前	演習	296	
		23335	デザイン演習B	2	2～3	後	演習	297	
		23336	工芸演習A	2	2～3	前	演習	298	
	23337	工芸演習B	2	2～3	後	演習	299		
	デザイン	必修主要	24112	デザインⅠ	3	1	前	実技	124
			24113	木工芸基礎	2	1	後	演習	127
			24114	立体造形(デ)	2	1	後	演習	128
			24115	素描(デ)	1	1	後	実技	129
			24116	色彩構成	2	1	後	演習	130
			24117	空間構成	2	1	後	演習	131
			24223	デザインⅡ-I	7	2	前	実技	132
			24224	デザインⅡ-II	7	2	後	実技	138
			24343	デザインⅢ-I	7	3	前	実技	144
			24344	デザインⅢ-II	7	3	後	実技	150
		24331	デザイン特別演習	2	3	前	演習	157	
		24391	学外研究	4	3	後	演習	158	
必修専攻 専門関連		24121	絵画(デ)	2	1	前	演習	159	
		24123	彫刻(デ)	2	1	前	演習	160	
		24124	工芸(デ)	2	1	前	演習	161	
選択専攻 専門関連		24132	西洋建築史	2	1～4	前	講義	317	
		24133	日本建築史	2	1～4	後	講義	318	
	24153	クラフトデザイン計画	2	1～4	後	講義	319		
	24161	プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	320		
	24162	ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	321		
	24171	視覚伝達論A(印刷)	2	1～4	前	演習	322		
	24172	視覚伝達論B(映像)	2	1～4	後	演習	323		
	24181	環境造形論	2	1～4	前	講義	324		
	24184	人間工学	2	1～4	後	講義	休講		
24251	図学	2	1～4	前	演習	325			

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成30年度以降入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁		
工 芸	必修主要	25112	描写	1	1	前	実技	163		
		25113	色彩	1	1	前	実技	164		
		25114	立体構成	1	1	前	実技	165		
		25101	工芸Ⅰ	7	1	後	実技	168		
		25209	工芸Ⅱ	5	2	前	実技	173		
		25261	立体造形(工)	1	2	前	実技	178		
		25262	版画	1	2	前	実技	179		
		25391	古美術研究	4	3	後	演習	180		
		25392	デザインと素材	1	3	前	実技	181		
		25221	染Ⅰ	7	2	後	実技	182		
		25323	染Ⅱ	13	3	通年	実技	188		
		25231	織Ⅰ	7	2	後	実技	200		
		25332	織Ⅱ	13	3	通年	実技	205		
		25232	繊維科学	2	2	後	講義	221		
		25222	染色化学	2	2	後	講義	222		
		25322	染織特別演習	2	3	後	演習	223		
		25211	陶芸Ⅰ	7	2	後	実技	224		
		25313	陶芸Ⅱ	13	3	通年	実技	229		
		25212	窯業化学	2	2	後	講義	240		
		25312	陶芸特別演習	2	3	通年	演習	241		
		25241	漆芸Ⅰ	7	2	後	実技	242		
		25343	漆芸Ⅱ	13	3	通年	実技	249		
		25242	漆芸科学	2	2	後	講義	264		
		25342	漆芸特別演習	2	3	前	演習	265		
		必修専攻 専門関連		25102	絵画(工)	2	1	前	演習	162
				25103	彫刻(工)	2	1	前	演習	166
				25104	デザイン(工)	2	1	前	演習	167
		選択専攻 専門関連		25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	327
			25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	328	
			25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	329	
			25152	装飾論	2	1～4	後	講義	330	
			25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	331	
		25177	色彩論	2	1～4	前	講義	340		

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成30年度以降入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
全専攻対象 (一部専攻除く科目あり)	選択共通 専門関連	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	休講
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	87
		22202	金属演習	2	2～4	後	演習	300
		23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	301
		23126	芸術学	2	1～4	前	講義	302
		23135	彫刻史	2	1～4	前	講義	303
		23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	304
		23137	工芸史	2	1～4	前	講義	305
		23138	絵画史	2	1～4	後	講義	306
		23141	書道史	2	1～4	前	講義	307
		23142	現代芸術論A	2	1～4	後	講義	308
		23143	現代芸術論B	2	1～4	前	講義	309
		23145	一般芸術学	2	1～4	後	講義	310
		23146	日本美術史	2	1～4	前	講義	311
		23147	東洋美術史	2	1～4	前	講義	312
		23148	西洋美術史A	2	1～4	前	講義	313
		23149	西洋美術史B	2	1～4	後	講義	314
		24132	西洋建築史	2	1～4	前	講義	317
		24133	日本建築史	2	1～4	後	講義	318
		24153	クラフトデザイン計画	2	1～4	後	講義	319
		24161	プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	320
		24162	ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	321
		24163	図法及び製図A	2	1～4	前	演習	338
		24164	図法及び製図B	2	1～4	後	演習	339
		24171	視覚伝達論A(印刷)	2	1～4	前	演習	322
		24172	視覚伝達論B(映像)	2	1～4	後	演習	323
		24181	環境造形論	2	1～4	前	講義	324
		24184	人間工学	2	1～4	後	講義	休講
		24251	図学	2	1～4	前	演習	325
		24252	CG基礎	2	2～4	後	演習	326
		25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	327
		25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	328
		25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	329
		25152	装飾論	2	1～4	後	講義	330
25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	331		
25177	色彩論	2	1～4	前	講義	340		
自由科目	21202	写真演習	2	1～4	後	演習	342	
	24202	スクリーン印刷演習	2	2～4	後	演習	343	

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成29年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
絵 画	必修主要	21311	日本Ⅲ	14	3	通年	実技	18
		21412	日本画Ⅳ	14	4	通年	実技	23
		21321	油画Ⅲ	14	3	通年	実技	35
		21422	油画Ⅳ	14	4	通年	実技	44
		21331	絵画特論Ⅱ	2	2	通年	講義	48
		21291	古美術研究	4	2	後	演習	49
		21431	西洋建築史概説A	2	1～4	前	講義	267
	選択専攻 専門関連	21432	日本建築史概説A	2	1～4	後	講義	268
		21433	ビジュアルデザイン概論	2	1～4	前	講義	269
		21434	視覚伝達概論A(印刷)	2	1～4	前	演習	270
		21435	視覚伝達概論B(映像)	2	1～4	後	演習	271
		21436	陶磁史概説A	2	1～4	前	講義	272
		21437	染織工芸史概説A	2	1～4	前	講義	273
		21438	生活造形概論A	2	1～4	後	講義	274
21439	装飾概論A	2	1～4	後	講義	275		
21440	漆芸概論A	2	1～4	後	講義	276		
彫 刻	必修主要	22312	彫刻Ⅲ	13	3	通年	実技	68
		22412	彫刻Ⅳ	14	4	通年	実技	79
		22331	彫刻特論Ⅱ	2	3	通年	講義	81
	専攻専門関連	22208	工芸B	2	3	前	演習	86
	選択専攻 専門関連	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	休講
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	87
		22421	西洋建築史概説B	2	1～4	前	講義	277
		22422	日本建築史概説B	2	1～4	後	講義	278
		22423	クラフトデザイン計画概論	2	1～4	後	講義	279
		22424	プロダクトデザイン概論	2	1～4	後	講義	280
		22425	環境造形概論	2	1～4	前	講義	281
		22426	陶磁史概説B	2	1～4	前	講義	282
		22427	染織工芸史概説B	2	1～4	前	講義	283
		22428	生活造形概論B	2	1～4	後	講義	284
22429		装飾概論B	2	1～4	後	講義	285	
22430	漆芸概論B	2	1～4	後	講義	286		
芸 術 学	必修主要	23411	卒業論文	5	4	通年	演習	97
	選択主要	23421	美学演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	102
		23422	美学演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	102
		23423	芸術学演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	103
		23424	芸術学演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	103
		23425	日本美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	104
		23426	日本美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	105
		23427	東洋美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	106
		23428	東洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	106
		23429	西洋美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	107
		23430	西洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	107
		23442	芸術文化論演習	4	3～4	通年	演習	108
		23431	語学演習A(英語)	4	2～4	通年	演習	111
		23432	語学演習B(独語)	4	2～4	通年	演習	113
23433	語学演習C(仏語)	4	2～4	通年	演習	114		
23434	語学演習D(伊語)	4	2～4	通年	演習	115		
23435	原典研究A(古文書)	4	2～4	通年	演習	116		
23436	原典研究B(漢文)	4	2～4	通年	演習	117		
23437	原典研究C(ラテン語)	4	2～4	通年	演習	休講		
23438	美学特講	2	2～4	前	講義	118		
23439	芸術学特講	2	2～4	後	講義	119		
23440	東洋美術史特講	2	2～4	前	講義	120		
23228	日本美術史特講	2	2～4	後	講義	121		
23441	西洋美術史特講	2	2～4	後	講義	122		
23227	比較芸術学特講	2	2～4	後	講義	123		

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成29年度入学生用)

対象専攻	科目区分	科目コード	授業科目名	単位数	受講年次	学期	授業区分	頁
芸術学	選択専攻 専門関連	23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	301
		23126	芸術学	2	1～4	前	講義	302
		23135	彫刻史	2	1～4	前	講義	303
		23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	304
		23137	工芸史	2	1～4	前	講義	305
		23138	絵画史	2	1～4	後	講義	306
		23141	書道史	2	1～4	前	講義	307
		23142	現代芸術論A	2	1～4	後	講義	308
		23143	現代芸術論B	2	1～4	前	講義	309
		23145	一般芸術学	2	1～4	後	講義	310
		23146	日本美術史	2	1～4	前	講義	311
		23147	東洋美術史	2	1～4	前	講義	312
		23148	西洋美術史A	2	1～4	前	講義	313
		23149	西洋美術史B	2	1～4	後	講義	314
		23443	陶磁史概説C	2	1～4	前	講義	287
		23444	染織工芸史概説C	2	1～4	前	講義	288
		23445	生活造形概論C	2	1～4	後	講義	289
		23446	装飾概論C	2	1～4	後	講義	290
		23447	漆芸概論C	2	1～4	後	講義	291
		デザイン	必修主要	24342	デザインⅢB	7	3	後
24431	デザインⅣ			15	4	通年	実技	156
24331	デザイン特別演習			2	3	前	演習	157
24391	学外研究			4	3	後	演習	158
24132	西洋建築史		2	1～4	前	講義	317	
24133	日本建築史		2	1～4	後	講義	318	
24153	クラフトデザイン計画		2	1～4	後	講義	319	
24161	プロダクトデザイン論		2	1～4	後	講義	320	
24162	ビジュアルデザイン論		2	1～4	前	講義	321	
24171	視覚伝達論A(印刷)		2	1～4	前	演習	322	
24172	視覚伝達論B(映像)	2	1～4	後	演習	323		
24181	環境造形論	2	1～4	前	講義	324		
24182	色彩論	2	1～4	前	講義	340		
24184	人間工学	2	1～4	後	講義	休講		
24251	図学	2	1～4	前	演習	325		
24252	CG基礎	2	2～4	後	演習	326		
選択共通 専門関連	25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	327	
	25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	328	
	25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	329	
	25152	装飾論	2	1～4	後	講義	330	
	25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	331	
工芸	必修主要	25433	染Ⅲ	14	4	通年	実技	197
		25322	染織特別演習	2	3	後	演習	223
		25331	織Ⅱ	14	3	通年	実技	205
		25434	織Ⅲ	14	4	通年	実技	217
		25412	陶芸Ⅲ	14	4	通年	実技	237
		25312	陶芸特別演習	2	3	通年	演習	241
		25341	漆芸Ⅱ	14	3	通年	実技	249
		25442	漆芸Ⅲ	14	4	通年	実技	260
	25342	漆芸特別演習	2	3	前	演習	265	
	選択専攻 専門関連	25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	327
		25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	328
		25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	329
		25152	装飾論	2	1～4	後	講義	330
		25162	図法及び製図	4	1～4	通年	演習	336
		25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	331
25172		絵画史概説	2	1～4	後	講義	332	
25173	彫刻史概説	2	1～4	前	講義	333		
25174	現代芸術概論A	2	1～4	後	講義	334		
25175	現代芸術概論B	2	1～4	前	講義	335		
25176	沖縄美術工芸史概説	2	1～2	後	講義	休講		

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成29年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁		
全専攻対象 (一部専攻除く科目あり)	選択共通 専門関連	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	休講		
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	87		
		22202	金属演習	2	2～4	後	演習	300		
		23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	301		
		23126	芸術学	2	1～4	前	講義	302		
		23135	彫刻史	2	1～4	前	講義	303		
		23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	304		
		23137	工芸史	2	1～4	前	講義	305		
		23138	絵画史	2	1～4	後	講義	306		
		23141	書道史	2	1～4	前	講義	307		
		23142	現代芸術論A	2	1～4	後	講義	308		
		23143	現代芸術論B	2	1～4	前	講義	309		
		23145	一般芸術学	2	1～4	後	講義	310		
		23146	日本美術史	2	1～4	前	講義	311		
		23147	東洋美術史	2	1～4	前	講義	312		
		23148	西洋美術史A	2	1～4	前	講義	313		
		23149	西洋美術史B	2	1～4	後	講義	314		
		24132	西洋建築史	2	1～4	前	講義	317		
		24133	日本建築史	2	1～4	後	講義	318		
		24153	クラフトデザイン計画	2	1～4	後	講義	319		
		24161	プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	320		
		24162	ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	321		
		24171	視覚伝達論A(印刷)	2	1～4	前	演習	322		
		24172	視覚伝達論B(映像)	2	1～4	後	演習	323		
		24181	環境造形論	2	1～4	前	講義	324		
		24182	色彩論	2	1～4	前	講義	340		
		24184	人間工学	2	1～4	後	講義	休講		
		24251	図学	2	1～4	前	演習	325		
		24252	CG基礎	2	2～4	後	演習	326		
		25162	図法及び製図	4	1～4	通年	演習	336		
		自由科目		21202	写真演習	2	1～4	後	演習	342
				24202	スクリーン印刷演習	2	2～4	後	演習	343

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目一覧(平成28年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
絵 画	必修主要	21411	日本画Ⅳ	15	4	通年	実技	23
		21421	油画Ⅳ	15	4	通年	実技	44
	選択専攻 専門関連	21431	西洋建築史概説A	2	1～4	前	講義	267
		21432	日本建築史概説A	2	1～4	後	講義	268
		21433	ビジュアルデザイン概論	2	1～4	前	講義	269
		21434	視覚伝達概論A(印刷)	2	1～4	前	演習	270
		21435	視覚伝達概論B(映像)	2	1～4	後	演習	271
		21436	陶磁史概説A	2	1～4	前(集中)	講義	272
		21437	染織工芸史概説A	2	1～4	前	講義	273
		21438	生活造形概論A	2	1～4	後	講義	274
		21439	装飾概論A	2	1～4	後(集中)	講義	275
		21440	漆芸概論A	2	1～4	後	講義	276
	彫 刻	必修主要	22411	彫刻Ⅳ	15	4	通年	実技
選択専攻 専門関連		22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	休講
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	87
		22421	西洋建築史概説B	2	1～4	前	講義	277
		22422	日本建築史概説B	2	1～4	後	講義	278
		22423	クラフトデザイン計画概論	2	1～4	後(集中)	講義	279
		22424	プロダクトデザイン概論	2	1～4	後	講義	280
		22425	環境造形概論	2	1～4	前	講義	281
		22426	陶磁史概説B	2	1～4	前(集中)	講義	282
		22427	染織工芸史概説B	2	1～4	前	講義	283
		22428	生活造形概論B	2	1～4	後	講義	284
		22429	装飾概論B	2	1～4	後(集中)	講義	285
		22430	漆芸概論B	2	1～4	後	講義	286
芸 術 学	必修主要	23411	卒業論文	5	4	通年	演習	97
	選択主要	23421	美学演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	102
		23422	美学演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	102
		23423	芸術学演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	103
		23424	芸術学演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	103
		23425	日本美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	104
		23426	日本美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	105
		23427	東洋美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	106
		23428	東洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	106
		23429	西洋美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	107
		23430	西洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	107
		23442	芸術文化論演習	4	3～4	通年	演習	108
		23431	語学演習A(英語)	4	2～4	通年	演習	111
		23432	語学演習B(独語)	4	2～4	通年	演習	113
		23433	語学演習C(仏語)	4	2～4	通年	演習	114
		23434	語学演習D(伊語)	4	2～4	通年	演習	115
		23435	原典研究A(古文書)	4	2～4	通年	演習	116
		23436	原典研究B(漢文)	4	2～4	通年	演習	117
		23437	原典研究C(ラテン語)	4	2～4	通年	演習	休講
23438	美学特講	2	2～4	前	講義	118		
23439	芸術学特講	2	2～4	後	講義	119		
23440	東洋美術史特講	2	2～4	前	講義	120		
23228	日本美術史特講	2	2～4	後	講義	121		
23441	西洋美術史特講	2	2～4	後	講義	122		
23227	比較芸術学特講	2	2～4	後	講義	123		

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目一覧(平成28年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
芸術学	選択専攻 専門関連	23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	301
		23126	芸術学	2	1～4	前	講義	302
		23135	彫刻史	2	1～4	前	講義	303
		23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	304
		23137	工芸史	2	1～4	前	講義	305
		23138	絵画史	2	1～4	後	講義	306
		23141	書道史	2	1～4	前	講義	307
		23142	現代芸術論A	2	1～4	後	講義	308
		23143	現代芸術論B	2	1～4	前	講義	309
		23145	一般芸術学	2	1～4	後	講義	310
		23146	日本美術史	2	1～4	前	講義	311
		23147	東洋美術史	2	1～4	前	講義	312
		23148	西洋美術史A	2	1～4	前	講義	313
		23149	西洋美術史B	2	1～4	後	講義	314
		23443	陶磁史概説C	2	1～4	前	講義	287
		23444	染織工芸史概説C	2	1～4	前	講義	288
		23445	生活造形概論C	2	1～4	後	講義	289
		23446	装飾概論C	2	1～4	後(集中)	講義	290
		23447	漆芸概論C	2	1～4	後	講義	291
		デザイン	必修主要	24431	デザインIV	15	4	通年
24331	デザイン特別演習			2	3	前	演習	157
24391	学外研究			4	3	後	演習	158
選択専攻 専門関連	24131		建築史	4	1～4	通年	講義	315
	24153		クラフトデザイン計画	2	1～4	後	講義	319
	24161		プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	320
	24162		ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	321
	24171		視覚伝達論A(印刷)	2	1～4	前	演習	322
	24172		視覚伝達論B(映像)	2	1～4	後	演習	323
	24181		環境造形論	2	1～4	前	講義	324
	24182		色彩論	2	1～4	前	講義	340
	24184		人間工学	2	1～4	後	講義	休講
	24251		図学	2	1～4	前	演習	325
	24252		CG基礎	2	2～4	後	演習	326
	選択共通 専門関連		25131	陶磁史	2	1～4	前	講義
25132		染織工芸史	2	1～4	前	講義	328	
25151		生活造形論	2	1～4	後	講義	329	
25152		装飾論	2	1～4	後	講義	330	
25171		漆芸論	2	1～4	後	講義	331	

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目一覧(平成28年度入学生用)

対象専攻	科目区分	科目コード	授業科目名	単位数	受講年次	学期	授業区分	頁
工芸	必修主要	25433	染Ⅲ	15	4	通年	実技	197
		25331	織Ⅱ	14	3	通年	実技	205
		25222	染色化学	2	2	後	講義	222
		25322	染織特別演習	2	3	後	演習	223
		25411	陶芸Ⅲ	15	4	通年	実技	237
		25341	漆芸Ⅱ	14	3	通年	実技	249
		25242	漆芸科学	2	2	後	講義	264
		25342	漆芸特別演習	2	3	前	演習	265
		25391	古美術研究	4	3	後	演習	180
	選択専攻 専門関連	25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	327
		25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	328
		25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	329
		25152	装飾論	2	1～4	後	講義	330
		25162	図法及び製図	4	1～4	通年	演習	336
		25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	331
		25172	絵画史概説	2	1～4	通年	講義	332
		25173	彫刻史概説	2	1～4	前	講義	333
		25174	現代芸術概論A	2	1～4	後	講義	334
	25175	現代芸術概論B	2	1～4	前	講義	335	
	全専攻対象 (一部専攻除く科目あり)	選択共通 専門関連	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義
22133			美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	87
22202			金属演習	2	2～4	後	演習	300
23125			芸術心理学	2	1～4	後	講義	301
23126			芸術学	2	1～4	前	講義	302
23135			彫刻史	2	1～4	前	講義	303
23136			デザイン史	2	1～4	前	講義	304
23137			工芸史	2	1～4	前	講義	305
23138			絵画史	2	1～4	後	講義	306
23141			書道史	2	1～4	前	講義	307
23142			現代芸術論A	2	1～4	後	講義	308
23143			現代芸術論B	2	1～4	前	講義	309
23145			一般芸術学	2	1～4	後	講義	310
23146			日本美術史	2	1～4	前	講義	311
23147		東洋美術史	2	1～4	前	講義	312	
23148		西洋美術史A	2	1～4	前	講義	313	
23149		西洋美術史B	2	1～4	後	講義	314	
24131		建築史	4	1～4	通年	講義	315	
24153		クラフトデザイン計画	2	1～4	後	講義	319	
24161		プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	320	
24162		ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	321	
24171		視覚伝達論A(印刷)	2	1～4	前	演習	322	
24172		視覚伝達論B(映像)	2	1～4	後	演習	323	
24181		環境造形論	2	1～4	前	講義	324	
24182		色彩論	2	1～4	前	講義	340	
24184		人間工学	2	1～4	後	講義	休講	
24251		図学	2	1～4	前	演習	325	
24252		CG基礎	2	2～4	後	演習	326	
25162		図法及び製図	4	1～4	通年	演習	336	
自由科目	21202	写真演習	2	1～4	後	演習	342	
	24202	スクリーン印刷演習	2	2～4	後	演習	343	

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目一覧(平成27年度以前入学生用)

対象専攻	科目区分	科目コード	授業科目名	単位数	受講年次	学期	授業区分	頁
絵画	必修主要	21411	日本画Ⅳ	15	4	通年	実技	23
		21421	油画Ⅳ	15	4	通年	実技	44
工芸	必修主要	25331	織Ⅱ	14	3	通年	実技	205
		25232	繊維科学	2	2	後	講義	221
		25242	漆芸科学	2	2	後	講義	264
		25411	陶芸Ⅲ	15	4	通年	実技	237
		25312	陶芸特別演習	2	3	通年	演習	241
		25322	染織特別演習	2	3	前	演習	223
		25391	古美術研究	4	3	後	演習	180
全専攻共通	選択専門関連	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	休講
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	87
		22202	金属演習	2	2～4	後	演習	300
		23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	301
		23126	芸術学	2	1～4	前	講義	302
		23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	304
		23137	工芸史	2	1～4	前	講義	305
		23138	絵画史	2	1～4	後	講義	306
		23141	書道史	2	1～4	前	講義	307
		23142	現代芸術論A	2	1～4	後	講義	308
		23143	現代芸術論B	2	1～4	前	講義	309
		24131	建築史	4	1～4	通年	講義	315
		24153	クラフトデザイン計画	2	2～4	後	講義	319
		24161	プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	320
		24162	ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	321
		24171	視覚伝達論A(印刷)	2	1～4	前	演習	322
		24172	視覚伝達論B(映像)	2	1～4	後	演習	323
		24181	環境造形論	2	1～4	前	講義	324
		24182	色彩論	2	1～4	後	講義	340
		24184	人間工学	2	1～4	後	講義	休講
		24251	図学	2	1～4	前	演習	325
		24252	CG基礎	2	2～4	後	演習	326
		25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	327
		25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	328
		25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	329
		25152	装飾論	2	1～4	後	講義	330
		25162	図法及び製図	4	1～4	通年	演習	336
		25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	331
		23145	一般芸術学	2	1～4	後	講義	310
		23146	日本美術史	2	1～4	前	講義	311
		23147	東洋美術史	2	1～4	前	講義	312
		23148	西洋美術史A	2	1～4	前	講義	313
		23149	西洋美術史B	2	1～4	後	講義	314
自由科目		21202	写真演習	2	1～4	後	演習	342
		24202	スクリーン印刷演習	2	2～4	後	演習	343

実務経験のある教員による授業科目（実践的教育を行う授業）

対象専攻等	区分	授業科目名	単位数	授業区分	教員名	職	担当形態	実務経験等	掲載頁	
学部	選択科目 共通専門 関連科目	ビジュアルデザイン概論 ビジュアルデザイン論	2	講義	笹原浩造	准教授	単独	アートディレクター、化粧品会社宣伝部勤務 (1986～2010年)	269 321	
		視覚伝達概論A 視覚伝達論A(印刷)	2	演習	赤嶺雅	教授	単独	グラフィックデザイナー、民間企業(情報通 信機械器具製造業、印刷業)デザイン室勤 務(1986～1992年)	270 322	
		視覚伝達概論B 視覚伝達論B(映像)	2	演習	仲本賢	教授	単独	映像作家	271 323	
		環境造形概論 環境造形論	2	講義	宮里武志	准教授	単独	設計事務所主宰、建築設計事務所等勤務 (1994～2002年)	281 324	
		日本美術史	2	講義	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員(1989～1994年)	311	
		東洋美術史	2	講義	金 恵信	教授	単独	美術批評家	312	
		西洋美術史B	2	講義	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	314	
		CG基礎	2	演習	真喜志康一	非常勤講師	単独	デザイン事務所経営	326	
絵画専攻	必修科目 主要科目	日本画Ⅳ	14	実技	平山英樹	教授	複数	日本画家	23	
					香川亮	准教授		画家		
					関谷理	講師		日本画家		
		油画Ⅳ	14	実技	知花均	教授	複数	版画家	44	
高崎賀朗	教授	画家								
阪田清子	准教授	画家								
彫刻専攻	必修科目 主要科目	彫刻Ⅳ	14	実技	波多野泉	教授	複数	彫刻家	79	
					砂川泰彦	教授		彫刻家		
					河原圭佑	講師		彫刻家		
					長尾恵那	講師		彫刻家		
		彫刻特論Ⅱ	2	講義	波多野泉	教授	オムニバス	彫刻家	81	
					砂川泰彦	教授		彫刻家		
芸術学専攻	選択科目 主要科目	芸術学演習Ⅰ	4	演習	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	103	
		芸術学演習Ⅱ	4	演習	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	103	
		日本美術史演習Ⅰ	4	演習	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員(1989～1994年)	104	
		日本美術史演習Ⅱ	4	演習	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員(1989～1994年)	105	
		東洋美術史演習Ⅰ	4	演習	金 恵信	教授	単独	美術批評家	106	
		東洋美術史演習Ⅱ	4	演習	金 恵信	教授	単独	美術批評家	106	
		芸術学特講	2	講義	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	119	
		東洋美術史特講	2	講義	金 恵信	教授	単独	美術批評家	120	
		日本美術史特講	2	講義	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員(1989～1994年)	121	
		デザイン専攻	必修科目 主要科目	デザインⅢ-I	7	実技	笹原浩造	准教授	複数	アートディレクター、化粧品会社宣伝部勤務 (1986～2010年)
高田浩樹	准教授						単独	デザイン事務所主宰		
又吉浩	准教授						単独	アニメーション作家		
宮里武志	准教授						単独	設計事務所主宰、建築設計事務所等勤務 (1994～2002年)		
赤塚 美穂子	講師						複数	プロダクトデザイナー、コイズミ照明株式会 社 勤務(2006年～2020年)		
(インターンシップ)	複数							インターンシップA・B		
デザインⅢB	7						実技	又吉浩	准教授	単独
				高田浩樹	准教授	単独		デザイン事務所主宰		
				仲本賢	教授	複数		映像作家		
又吉浩	准教授			映像作家						
デザインⅢ-II	7	実技	赤嶺雅	教授	複数	グラフィックデザイナー、民間企業(情報通 信機械器具製造業、印刷業)デザイン室勤 務(1986～1992年)	151 150			
(インターンシップ)	複数	インターンシップC・D								
工芸専攻	必修科目 主要科目	染Ⅲ	14	実技	名護朝和	教授	複数	染色家	197	
					宇良京子	講師		染色家		
		織Ⅲ	14	実技	真栄城興茂	教授	複数	染織家、織工房主宰	217	
					花城美弥子	准教授		染織家		
					久保田寛子	准教授		染織家		
		陶芸Ⅲ	14	実技	山田聡	教授	複数	陶芸家	237	
					島袋克史	講師		陶芸家		
漆芸Ⅲ	14	実技	水上修	教授	複数	漆芸家	260			
			當眞茂	准教授		漆芸家				

專門教育科目

主要科目

專攻專門関連科目

2020 授業科目〈シラバス〉

Okinawa Prefectural University of Arts Syllabus

沖縄県立芸術大学
美術工芸学部

授業科目〈シラバス〉について

この「2020 授業科目〈シラバス〉は、令和2年度に美術工芸学部で開講される専門教育科目について、各担当教員から提出された授業計画（シラバス）をまとめたものです。

履修計画や年間の学習計画を立てる際に利用してください。

なお、総合教育科目、共通教育科目及び教職に関する科目は別冊となっています。

1. 実技の授業科目は、その多くが複数の実習（課題）で構成されています。この場合、授業科目の頁のあとに実習（課題）ごとのシラバスが記載されていることがあります。
2. 今年度開講する科目のみを掲載しています。
3. 集中講義科目については、単位数・学期欄に（集中）と表記されています。
4. 担当教員名欄の（名）は名誉教授を、（客）は客員教授を、（非）は非常勤講師を表します。
5. ■履修上の留意点には、履修の条件や注意事項のほかに、授業外の学習を含めて履修にあたり心掛けるべき点、学生への要望等が記載されています。
6. その他、本学の授業科目には科目名の末尾に番号等が付されているものがあります。これらは、科目開設の趣旨や性格、また分類上のルールがありますので、入学時に配布された履修案内等を確認してください。

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成30年度以降入学生用)

対象専攻	科目区分	科目コード	授業科目名	単位数	受講年次	学期	授業区分	頁	
絵画	必修主要	21110	絵画基礎	5	1	前	実技	1	
		21112	日本画Ⅰ	6	1	後	実技	7	
		21113	箔	2	1	後	演習	12	
		21213	日本画Ⅱ - Ⅰ	6	2	前	実技	13	
		21214	日本画Ⅱ - Ⅱ	7	2	後	実技	15	
		21312	日本画Ⅲ - Ⅰ	6	3	前	実技	19	
		21313	日本画Ⅲ - Ⅱ	7	3	後	実技	21	
		21314	装丁実習	1	3	前	実技	22	
		21121	油画Ⅰ	7	1	後	実技	24	
		21223	油画Ⅱ - Ⅰ	6	2	前	実技	28	
		21224	油画Ⅱ - Ⅱ	7	2	後	実技	32	
		21322	油画Ⅲ - Ⅰ	7	3	前	実技	36	
		21323	油画Ⅲ - Ⅱ	6	3	後	実技	40	
		21324	染	2	3	後	演習	43	
		21231	絵画特論Ⅰ	2	1	通年	講義	47	
		21331	絵画特論Ⅱ	2	2	通年	講義	48	
		21291	古美術研究	4	2	後期	演習	49	
		必修専攻 専門関連	21132	彫刻(絵)	2	1	前	演習	50
			21133	デザイン(絵)	2	1	前	演習	51
			21209	工芸(絵)	2	2	前	演習	52
		彫刻	必修主要	22110	デッサン	1	1	前	実技
22113	彫刻Ⅰ - Ⅰ			5	1	前	実技	54	
22114	彫刻Ⅰ - Ⅱ			7	1	後	実技	58	
22213	彫刻Ⅱ - Ⅰ			6	2	前	実技	61	
22214	彫刻Ⅱ - Ⅱ			6	2	後	実技	64	
22215	構成			1	2	後	実技	67	
22313	彫刻Ⅲ - Ⅰ			6	3	前	実技	73	
22314	鍛造			1	3	前	実技	76	
22315	彫刻Ⅲ - Ⅱ			6	3	後	実技	77	
22316	鑄造			1	3	後	実技	78	
22231	彫刻特論Ⅰ			2	2	通年	講義	80	
22331	彫刻特論Ⅱ			2	3	通年	講義	81	
22291	古美術研究			4	2	後	演習	82	
必修専攻 専門関連	22121			絵画(彫)	2	1	前	演習	83
	22209	デザイン(彫)	2	2	前	演習	84		
	22341	工芸(彫)	2	3	前	演習	85		
	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1~4	前	講義	休講		
選択専攻 専門関連	22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1~4	前	講義	87		
芸術学	必修主要	23110	素描(芸)	2	1	前	演習	88	
		23114	実技研究(絵画)	3	1	後	実技	89	
		23115	実技研究(表現)	2	1	後	実技	92	
		23113	基礎演習	2	1	後	演習	95	
		23217	学外研究	4	2	後	演習	96	
	必修専攻 専門関連	23151	絵画(芸)	2	1	前	演習	98	
		23152	彫刻(芸)	2	1	前	演習	99	
		23153	デザイン(芸)	2	1	前	演習	100	
		23154	工芸(芸)	2	1	前	演習	101	
	選択主要	23421	美学演習Ⅰ	4	3~4	通年	演習	102	
		23422	美学演習Ⅱ	4	3~4	通年	演習	102	
		23423	芸術学演習Ⅰ	4	3~4	通年	演習	103	
		23424	芸術学演習Ⅱ	4	3~4	通年	演習	103	
		23425	日本美術史演習Ⅰ	4	3~4	通年	演習	104	
23426	日本美術史演習Ⅱ	4	3~4	通年	演習	105			
23427	東洋美術史演習Ⅰ	4	3~4	通年	演習	106			
23428	東洋美術史演習Ⅱ	4	3~4	通年	演習	106			

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成30年度以降入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁	
芸術学	選択主要	23429	西洋美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	107	
		23430	西洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	107	
		23442	芸術文化論演習	4	3～4	通年	演習	108	
		23271	芸術文化論演習B	2	2～4	前	演習	110	
		23431	語学演習A(英語)	4	2～4	通年	演習	111	
		23432	語学演習B(独語)	4	2～4	通年	演習	113	
		23433	語学演習C(仏語)	4	2～4	通年	演習	114	
		23434	語学演習D(伊語)	4	2～4	通年	演習	115	
		23435	原典研究A(古文書)	4	2～4	通年	演習	116	
		23436	原典研究B(漢文)	4	2～4	通年	演習	117	
		23437	原典研究C(ラテン語)	4	2～4	通年	演習	休講	
		23438	美学特講	2	2～4	前	講義	118	
		23439	芸術学特講	2	2～4	後	講義	119	
		23440	東洋美術史特講	2	2～4	前	講義	120	
		23228	日本美術史特講	2	2～4	後	講義	121	
		23441	西洋美術史特講	2	2～4	後	講義	122	
		23227	比較芸術学特講	2	2～4	後	講義	123	
	選択専攻 専門関連	23330	絵画演習A	2	2～3	前	演習	292	
		23331	絵画演習B	2	2～3	後	演習	293	
		23261	彫刻演習A	2	2～3	前	演習	294	
		23262	彫刻演習B	2	2～3	後	演習	295	
		23334	デザイン演習A	2	2～3	前	演習	296	
		23335	デザイン演習B	2	2～3	後	演習	297	
		23336	工芸演習A	2	2～3	前	演習	298	
	23337	工芸演習B	2	2～3	後	演習	299		
	デザイン	必修主要	24112	デザインⅠ	3	1	前	実技	124
			24113	木工芸基礎	2	1	後	演習	127
24114			立体造形(デ)	2	1	後	演習	128	
24115			素描(デ)	1	1	後	実技	129	
24116			色彩構成	2	1	後	演習	130	
24117			空間構成	2	1	後	演習	131	
24223			デザインⅡ-I	7	2	前	実技	132	
24224			デザインⅡ-II	7	2	後	実技	138	
24343			デザインⅢ-I	7	3	前	実技	144	
24344			デザインⅢ-II	7	3	後	実技	150	
24331		デザイン特別演習	2	3	前	演習	157		
24391		学外研究	4	3	後	演習	158		
必修専攻 専門関連		24121	絵画(デ)	2	1	前	演習	159	
		24123	彫刻(デ)	2	1	前	演習	160	
		24124	工芸(デ)	2	1	前	演習	161	
選択専攻 専門関連		24132	西洋建築史	2	1～4	前	講義	317	
		24133	日本建築史	2	1～4	後	講義	318	
	24153	クラフトデザイン計画	2	1～4	後	講義	319		
	24161	プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	320		
	24162	ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	321		
	24171	視覚伝達論A(印刷)	2	1～4	前	演習	322		
	24172	視覚伝達論B(映像)	2	1～4	後	演習	323		
	24181	環境造形論	2	1～4	前	講義	324		
	24184	人間工学	2	1～4	後	講義	休講		
24251	図学	2	1～4	前	演習	325			

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成30年度以降入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁		
工 芸	必修主要	25112	描写	1	1	前	実技	163		
		25113	色彩	1	1	前	実技	164		
		25114	立体構成	1	1	前	実技	165		
		25101	工芸Ⅰ	7	1	後	実技	168		
		25209	工芸Ⅱ	5	2	前	実技	173		
		25261	立体造形(工)	1	2	前	実技	178		
		25262	版画	1	2	前	実技	179		
		25391	古美術研究	4	3	後	演習	180		
		25392	デザインと素材	1	3	前	実技	181		
		25221	染Ⅰ	7	2	後	実技	182		
		25323	染Ⅱ	13	3	通年	実技	188		
		25231	織Ⅰ	7	2	後	実技	200		
		25332	織Ⅱ	13	3	通年	実技	205		
		25232	繊維科学	2	2	後	講義	221		
		25222	染色化学	2	2	後	講義	222		
		25322	染織特別演習	2	3	後	演習	223		
		25211	陶芸Ⅰ	7	2	後	実技	224		
		25313	陶芸Ⅱ	13	3	通年	実技	229		
		25212	窯業化学	2	2	後	講義	240		
		25312	陶芸特別演習	2	3	通年	演習	241		
		25241	漆芸Ⅰ	7	2	後	実技	242		
		25343	漆芸Ⅱ	13	3	通年	実技	249		
		25242	漆芸科学	2	2	後	講義	264		
		25342	漆芸特別演習	2	3	前	演習	265		
		必修専攻 専門関連		25102	絵画(工)	2	1	前	演習	162
				25103	彫刻(工)	2	1	前	演習	166
				25104	デザイン(工)	2	1	前	演習	167
		選択専攻 専門関連		25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	327
			25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	328	
			25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	329	
			25152	装飾論	2	1～4	後	講義	330	
			25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	331	
		25177	色彩論	2	1～4	前	講義	340		

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成30年度以降入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
全専攻対象 (一部専攻除く科目あり)	選択共通 専門関連	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	休講
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	87
		22202	金属演習	2	2～4	後	演習	300
		23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	301
		23126	芸術学	2	1～4	前	講義	302
		23135	彫刻史	2	1～4	前	講義	303
		23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	304
		23137	工芸史	2	1～4	前	講義	305
		23138	絵画史	2	1～4	後	講義	306
		23141	書道史	2	1～4	前	講義	307
		23142	現代芸術論A	2	1～4	後	講義	308
		23143	現代芸術論B	2	1～4	前	講義	309
		23145	一般芸術学	2	1～4	後	講義	310
		23146	日本美術史	2	1～4	前	講義	311
		23147	東洋美術史	2	1～4	前	講義	312
		23148	西洋美術史A	2	1～4	前	講義	313
		23149	西洋美術史B	2	1～4	後	講義	314
		24132	西洋建築史	2	1～4	前	講義	317
		24133	日本建築史	2	1～4	後	講義	318
		24153	クラフトデザイン計画	2	1～4	後	講義	319
		24161	プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	320
		24162	ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	321
		24163	図法及び製図A	2	1～4	前	演習	338
		24164	図法及び製図B	2	1～4	後	演習	339
		24171	視覚伝達論A(印刷)	2	1～4	前	演習	322
		24172	視覚伝達論B(映像)	2	1～4	後	演習	323
		24181	環境造形論	2	1～4	前	講義	324
		24184	人間工学	2	1～4	後	講義	休講
		24251	図学	2	1～4	前	演習	325
		24252	CG基礎	2	2～4	後	演習	326
		25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	327
		25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	328
		25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	329
		25152	装飾論	2	1～4	後	講義	330
25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	331		
25177	色彩論	2	1～4	前	講義	340		
自由科目	21202	写真演習	2	1～4	後	演習	342	
	24202	スクリーン印刷演習	2	2～4	後	演習	343	

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成29年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁	
絵 画	必修主要	21311	日本Ⅲ	14	3	通年	実技	18	
		21412	日本画Ⅳ	14	4	通年	実技	23	
		21321	油画Ⅲ	14	3	通年	実技	35	
		21422	油画Ⅳ	14	4	通年	実技	44	
		21331	絵画特論Ⅱ	2	2	通年	講義	48	
		21291	古美術研究	4	2	後	演習	49	
		21431	西洋建築史概説A	2	1～4	前	講義	267	
	選択専攻 専門関連	21432	日本建築史概説A	2	1～4	後	講義	268	
		21433	ビジュアルデザイン概論	2	1～4	前	講義	269	
		21434	視覚伝達概論A(印刷)	2	1～4	前	演習	270	
		21435	視覚伝達概論B(映像)	2	1～4	後	演習	271	
		21436	陶磁史概説A	2	1～4	前	講義	272	
		21437	染織工芸史概説A	2	1～4	前	講義	273	
		21438	生活造形概論A	2	1～4	後	講義	274	
		21439	装飾概論A	2	1～4	後	講義	275	
	21440	漆芸概論A	2	1～4	後	講義	276		
	彫 刻	必修主要	22312	彫刻Ⅲ	13	3	通年	実技	68
			22412	彫刻Ⅳ	14	4	通年	実技	79
			22331	彫刻特論Ⅱ	2	3	通年	講義	81
専攻専門関連		22208	工芸B	2	3	前	演習	86	
選択専攻 専門関連		22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	休講	
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	87	
		22421	西洋建築史概説B	2	1～4	前	講義	277	
		22422	日本建築史概説B	2	1～4	後	講義	278	
		22423	クラフトデザイン計画概論	2	1～4	後	講義	279	
		22424	プロダクトデザイン概論	2	1～4	後	講義	280	
		22425	環境造形概論	2	1～4	前	講義	281	
		22426	陶磁史概説B	2	1～4	前	講義	282	
		22427	染織工芸史概説B	2	1～4	前	講義	283	
		22428	生活造形概論B	2	1～4	後	講義	284	
		22429	装飾概論B	2	1～4	後	講義	285	
		22430	漆芸概論B	2	1～4	後	講義	286	
		芸 術 学	必修主要	23411	卒業論文	5	4	通年	演習
23421				美学演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	102
選択主要			23422	美学演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	102
	23423		芸術学演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	103	
	23424		芸術学演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	103	
	23425		日本美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	104	
	23426		日本美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	105	
	23427		東洋美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	106	
	23428		東洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	106	
	23429		西洋美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	107	
	23430		西洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	107	
	23442		芸術文化論演習	4	3～4	通年	演習	108	
	23431		語学演習A(英語)	4	2～4	通年	演習	111	
	23432		語学演習B(独語)	4	2～4	通年	演習	113	
	23433		語学演習C(仏語)	4	2～4	通年	演習	114	
	23434		語学演習D(伊語)	4	2～4	通年	演習	115	
	23435		原典研究A(古文書)	4	2～4	通年	演習	116	
	23436		原典研究B(漢文)	4	2～4	通年	演習	117	
	23437		原典研究C(ラテン語)	4	2～4	通年	演習	休講	
	23438		美学特講	2	2～4	前	講義	118	
	23439		芸術学特講	2	2～4	後	講義	119	
	23440		東洋美術史特講	2	2～4	前	講義	120	
23228	日本美術史特講		2	2～4	後	講義	121		
23441	西洋美術史特講	2	2～4	後	講義	122			
23227	比較芸術学特講	2	2～4	後	講義	123			

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成29年度入学生用)

対象専攻	科目区分	科目コード	授業科目名	単位数	受講年次	学期	授業区分	頁
芸術学	選択専攻 専門関連	23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	301
		23126	芸術学	2	1～4	前	講義	302
		23135	彫刻史	2	1～4	前	講義	303
		23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	304
		23137	工芸史	2	1～4	前	講義	305
		23138	絵画史	2	1～4	後	講義	306
		23141	書道史	2	1～4	前	講義	307
		23142	現代芸術論A	2	1～4	後	講義	308
		23143	現代芸術論B	2	1～4	前	講義	309
		23145	一般芸術学	2	1～4	後	講義	310
		23146	日本美術史	2	1～4	前	講義	311
		23147	東洋美術史	2	1～4	前	講義	312
		23148	西洋美術史A	2	1～4	前	講義	313
		23149	西洋美術史B	2	1～4	後	講義	314
		23443	陶磁史概説C	2	1～4	前	講義	287
		23444	染織工芸史概説C	2	1～4	前	講義	288
		23445	生活造形概論C	2	1～4	後	講義	289
		23446	装飾概論C	2	1～4	後	講義	290
		23447	漆芸概論C	2	1～4	後	講義	291
		デザイン	必修主要	24342	デザインⅢB	7	3	後
24431	デザインⅣ			15	4	通年	実技	156
24331	デザイン特別演習			2	3	前	演習	157
24391	学外研究			4	3	後	演習	158
選択専攻 専門関連	24132		西洋建築史	2	1～4	前	講義	317
	24133		日本建築史	2	1～4	後	講義	318
	24153		クラフトデザイン計画	2	1～4	後	講義	319
	24161		プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	320
	24162		ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	321
	24171		視覚伝達論A(印刷)	2	1～4	前	演習	322
	24172	視覚伝達論B(映像)	2	1～4	後	演習	323	
	24181	環境造形論	2	1～4	前	講義	324	
	24182	色彩論	2	1～4	前	講義	340	
	24184	人間工学	2	1～4	後	講義	休講	
24251	図学	2	1～4	前	演習	325		
24252	CG基礎	2	2～4	後	演習	326		
選択共通 専門関連	25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	327	
	25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	328	
	25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	329	
	25152	装飾論	2	1～4	後	講義	330	
	25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	331	
工芸	必修主要	25433	染Ⅲ	14	4	通年	実技	197
		25322	染織特別演習	2	3	後	演習	223
		25331	織Ⅱ	14	3	通年	実技	205
		25434	織Ⅲ	14	4	通年	実技	217
		25412	陶芸Ⅲ	14	4	通年	実技	237
		25312	陶芸特別演習	2	3	通年	演習	241
		25341	漆芸Ⅱ	14	3	通年	実技	249
		25442	漆芸Ⅲ	14	4	通年	実技	260
	25342	漆芸特別演習	2	3	前	演習	265	
	選択専攻 専門関連	25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	327
		25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	328
		25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	329
		25152	装飾論	2	1～4	後	講義	330
		25162	図法及び製図	4	1～4	通年	演習	336
		25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	331
25172		絵画史概説	2	1～4	後	講義	332	
25173	彫刻史概説	2	1～4	前	講義	333		
25174	現代芸術概論A	2	1～4	後	講義	334		
25175	現代芸術概論B	2	1～4	前	講義	335		
25176	沖縄美術工芸史概説	2	1～2	後	講義	休講		

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目表一覧(平成29年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁		
全専攻対象 (一部専攻除く科目あり)	選択共通 専門関連	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	休講		
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	87		
		22202	金属演習	2	2～4	後	演習	300		
		23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	301		
		23126	芸術学	2	1～4	前	講義	302		
		23135	彫刻史	2	1～4	前	講義	303		
		23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	304		
		23137	工芸史	2	1～4	前	講義	305		
		23138	絵画史	2	1～4	後	講義	306		
		23141	書道史	2	1～4	前	講義	307		
		23142	現代芸術論A	2	1～4	後	講義	308		
		23143	現代芸術論B	2	1～4	前	講義	309		
		23145	一般芸術学	2	1～4	後	講義	310		
		23146	日本美術史	2	1～4	前	講義	311		
		23147	東洋美術史	2	1～4	前	講義	312		
		23148	西洋美術史A	2	1～4	前	講義	313		
		23149	西洋美術史B	2	1～4	後	講義	314		
		24132	西洋建築史	2	1～4	前	講義	317		
		24133	日本建築史	2	1～4	後	講義	318		
		24153	クラフトデザイン計画	2	1～4	後	講義	319		
		24161	プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	320		
		24162	ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	321		
		24171	視覚伝達論A(印刷)	2	1～4	前	演習	322		
		24172	視覚伝達論B(映像)	2	1～4	後	演習	323		
		24181	環境造形論	2	1～4	前	講義	324		
		24182	色彩論	2	1～4	前	講義	340		
		24184	人間工学	2	1～4	後	講義	休講		
		24251	図学	2	1～4	前	演習	325		
		24252	CG基礎	2	2～4	後	演習	326		
		25162	図法及び製図	4	1～4	通年	演習	336		
		自由科目		21202	写真演習	2	1～4	後	演習	342
				24202	スクリーン印刷演習	2	2～4	後	演習	343

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目一覧(平成28年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
絵 画	必修主要	21411	日本画Ⅳ	15	4	通年	実技	23
		21421	油画Ⅳ	15	4	通年	実技	44
	選択専攻 専門関連	21431	西洋建築史概説A	2	1～4	前	講義	267
		21432	日本建築史概説A	2	1～4	後	講義	268
		21433	ビジュアルデザイン概論	2	1～4	前	講義	269
		21434	視覚伝達概論A(印刷)	2	1～4	前	演習	270
		21435	視覚伝達概論B(映像)	2	1～4	後	演習	271
		21436	陶磁史概説A	2	1～4	前(集中)	講義	272
		21437	染織工芸史概説A	2	1～4	前	講義	273
		21438	生活造形概論A	2	1～4	後	講義	274
		21439	装飾概論A	2	1～4	後(集中)	講義	275
		21440	漆芸概論A	2	1～4	後	講義	276
彫 刻	必修主要	22411	彫刻Ⅳ	15	4	通年	実技	79
	選択専攻 専門関連	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	休講
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	87
		22421	西洋建築史概説B	2	1～4	前	講義	277
		22422	日本建築史概説B	2	1～4	後	講義	278
		22423	クラフトデザイン計画概論	2	1～4	後(集中)	講義	279
		22424	プロダクトデザイン概論	2	1～4	後	講義	280
		22425	環境造形概論	2	1～4	前	講義	281
		22426	陶磁史概説B	2	1～4	前(集中)	講義	282
		22427	染織工芸史概説B	2	1～4	前	講義	283
		22428	生活造形概論B	2	1～4	後	講義	284
		22429	装飾概論B	2	1～4	後(集中)	講義	285
22430	漆芸概論B	2	1～4	後	講義	286		
芸 術 学	必修主要	23411	卒業論文	5	4	通年	演習	97
	選択主要	23421	美学演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	102
		23422	美学演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	102
		23423	芸術学演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	103
		23424	芸術学演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	103
		23425	日本美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	104
		23426	日本美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	105
		23427	東洋美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	106
		23428	東洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	106
		23429	西洋美術史演習Ⅰ	4	3～4	通年	演習	107
		23430	西洋美術史演習Ⅱ	4	3～4	通年	演習	107
		23442	芸術文化論演習	4	3～4	通年	演習	108
		23431	語学演習A(英語)	4	2～4	通年	演習	111
		23432	語学演習B(独語)	4	2～4	通年	演習	113
		23433	語学演習C(仏語)	4	2～4	通年	演習	114
		23434	語学演習D(伊語)	4	2～4	通年	演習	115
		23435	原典研究A(古文書)	4	2～4	通年	演習	116
		23436	原典研究B(漢文)	4	2～4	通年	演習	117
23437	原典研究C(ラテン語)	4	2～4	通年	演習	休講		
23438	美学特講	2	2～4	前	講義	118		
23439	芸術学特講	2	2～4	後	講義	119		
23440	東洋美術史特講	2	2～4	前	講義	120		
23228	日本美術史特講	2	2～4	後	講義	121		
23441	西洋美術史特講	2	2～4	後	講義	122		
23227	比較芸術学特講	2	2～4	後	講義	123		

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目一覧(平成28年度入学生用)

対象 専攻	科目 区分	科目 コード	授業科目名	単位数	受講 年次	学期	授業 区分	頁
芸術学	選択専攻 専門関連	23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	301
		23126	芸術学	2	1～4	前	講義	302
		23135	彫刻史	2	1～4	前	講義	303
		23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	304
		23137	工芸史	2	1～4	前	講義	305
		23138	絵画史	2	1～4	後	講義	306
		23141	書道史	2	1～4	前	講義	307
		23142	現代芸術論A	2	1～4	後	講義	308
		23143	現代芸術論B	2	1～4	前	講義	309
		23145	一般芸術学	2	1～4	後	講義	310
		23146	日本美術史	2	1～4	前	講義	311
		23147	東洋美術史	2	1～4	前	講義	312
		23148	西洋美術史A	2	1～4	前	講義	313
		23149	西洋美術史B	2	1～4	後	講義	314
		23443	陶磁史概説C	2	1～4	前	講義	287
		23444	染織工芸史概説C	2	1～4	前	講義	288
		23445	生活造形概論C	2	1～4	後	講義	289
		23446	装飾概論C	2	1～4	後(集中)	講義	290
		23447	漆芸概論C	2	1～4	後	講義	291
		デザイン	必修主要	24431	デザインIV	15	4	通年
24331	デザイン特別演習			2	3	前	演習	157
24391	学外研究			4	3	後	演習	158
選択専攻 専門関連	24131		建築史	4	1～4	通年	講義	315
	24153		クラフトデザイン計画	2	1～4	後	講義	319
	24161		プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	320
	24162		ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	321
	24171		視覚伝達論A(印刷)	2	1～4	前	演習	322
	24172		視覚伝達論B(映像)	2	1～4	後	演習	323
	24181		環境造形論	2	1～4	前	講義	324
	24182		色彩論	2	1～4	前	講義	340
	24184		人間工学	2	1～4	後	講義	休講
	24251		図学	2	1～4	前	演習	325
	24252		CG基礎	2	2～4	後	演習	326
	選択共通 専門関連		25131	陶磁史	2	1～4	前	講義
25132		染織工芸史	2	1～4	前	講義	328	
25151		生活造形論	2	1～4	後	講義	329	
25152		装飾論	2	1～4	後	講義	330	
25171		漆芸論	2	1～4	後	講義	331	

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目一覧(平成28年度入学生用)

対象専攻	科目区分	科目コード	授業科目名	単位数	受講年次	学期	授業区分	頁
工芸	必修主要	25433	染Ⅲ	15	4	通年	実技	197
		25331	織Ⅱ	14	3	通年	実技	205
		25222	染色化学	2	2	後	講義	222
		25322	染織特別演習	2	3	後	演習	223
		25411	陶芸Ⅲ	15	4	通年	実技	237
		25341	漆芸Ⅱ	14	3	通年	実技	249
		25242	漆芸科学	2	2	後	講義	264
		25342	漆芸特別演習	2	3	前	演習	265
		25391	古美術研究	4	3	後	演習	180
		25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	327
	25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	328	
	25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	329	
	25152	装飾論	2	1～4	後	講義	330	
	25162	図法及び製図	4	1～4	通年	演習	336	
	25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	331	
	25172	絵画史概説	2	1～4	通年	講義	332	
	25173	彫刻史概説	2	1～4	前	講義	333	
	25174	現代芸術概論A	2	1～4	後	講義	334	
	25175	現代芸術概論B	2	1～4	前	講義	335	
	全専攻対象(一部専攻除く科目あり)	選択専攻 専門関連	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義
22133			美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	87
22202			金属演習	2	2～4	後	演習	300
23125			芸術心理学	2	1～4	後	講義	301
23126			芸術学	2	1～4	前	講義	302
23135			彫刻史	2	1～4	前	講義	303
23136			デザイン史	2	1～4	前	講義	304
23137			工芸史	2	1～4	前	講義	305
23138			絵画史	2	1～4	後	講義	306
23141			書道史	2	1～4	前	講義	307
23142			現代芸術論A	2	1～4	後	講義	308
23143			現代芸術論B	2	1～4	前	講義	309
23145			一般芸術学	2	1～4	後	講義	310
23146			日本美術史	2	1～4	前	講義	311
23147			東洋美術史	2	1～4	前	講義	312
23148		西洋美術史A	2	1～4	前	講義	313	
23149		西洋美術史B	2	1～4	後	講義	314	
24131		建築史	4	1～4	通年	講義	315	
24153		クラフトデザイン計画	2	1～4	後	講義	319	
24161		プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	320	
24162		ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	321	
24171		視覚伝達論A(印刷)	2	1～4	前	演習	322	
24172		視覚伝達論B(映像)	2	1～4	後	演習	323	
24181		環境造形論	2	1～4	前	講義	324	
24182		色彩論	2	1～4	前	講義	340	
24184		人間工学	2	1～4	後	講義	休講	
24251		図学	2	1～4	前	演習	325	
24252		CG基礎	2	2～4	後	演習	326	
25162		図法及び製図	4	1～4	通年	演習	336	
自由科目		21202	写真演習	2	1～4	後	演習	342
	24202	スクリーン印刷演習	2	2～4	後	演習	343	

令和2年度 美術工芸学部開設授業科目一覧(平成27年度以前入学生用)

対象専攻	科目区分	科目コード	授業科目名	単位数	受講年次	学期	授業区分	頁
絵画	必修主要	21411	日本画Ⅳ	15	4	通年	実技	23
		21421	油画Ⅳ	15	4	通年	実技	44
工芸	必修主要	25331	織Ⅱ	14	3	通年	実技	205
		25232	繊維科学	2	2	後	講義	221
		25242	漆芸科学	2	2	後	講義	264
		25411	陶芸Ⅲ	15	4	通年	実技	237
		25312	陶芸特別演習	2	3	通年	演習	241
		25322	染織特別演習	2	3	前	演習	223
		25391	古美術研究	4	3	後	演習	180
全専攻共通	選択専門関連	22132	美術解剖学Ⅰ(骨)	2	1～4	前	講義	休講
		22133	美術解剖学Ⅱ(筋)	2	1～4	前	講義	87
		22202	金属演習	2	2～4	後	演習	300
		23125	芸術心理学	2	1～4	後	講義	301
		23126	芸術学	2	1～4	前	講義	302
		23136	デザイン史	2	1～4	前	講義	304
		23137	工芸史	2	1～4	前	講義	305
		23138	絵画史	2	1～4	後	講義	306
		23141	書道史	2	1～4	前	講義	307
		23142	現代芸術論A	2	1～4	後	講義	308
		23143	現代芸術論B	2	1～4	前	講義	309
		24131	建築史	4	1～4	通年	講義	315
		24153	クラフトデザイン計画	2	2～4	後	講義	319
		24161	プロダクトデザイン論	2	1～4	後	講義	320
		24162	ビジュアルデザイン論	2	1～4	前	講義	321
		24171	視覚伝達論A(印刷)	2	1～4	前	演習	322
		24172	視覚伝達論B(映像)	2	1～4	後	演習	323
		24181	環境造形論	2	1～4	前	講義	324
		24182	色彩論	2	1～4	後	講義	340
		24184	人間工学	2	1～4	後	講義	休講
		24251	図学	2	1～4	前	演習	325
		24252	CG基礎	2	2～4	後	演習	326
		25131	陶磁史	2	1～4	前	講義	327
		25132	染織工芸史	2	1～4	前	講義	328
		25151	生活造形論	2	1～4	後	講義	329
		25152	装飾論	2	1～4	後	講義	330
		25162	図法及び製図	4	1～4	通年	演習	336
		25171	漆芸論	2	1～4	後	講義	331
		23145	一般芸術学	2	1～4	後	講義	310
		23146	日本美術史	2	1～4	前	講義	311
		23147	東洋美術史	2	1～4	前	講義	312
		23148	西洋美術史A	2	1～4	前	講義	313
23149	西洋美術史B	2	1～4	後	講義	314		
自由科目		21202	写真演習	2	1～4	後	演習	342
		24202	スクリーン印刷演習	2	2～4	後	演習	343

実務経験のある教員による授業科目（実践的教育を行う授業）

対象専攻等	区分	授業科目名	単位数	授業区分	教員名	職	担当形態	実務経験等	掲載頁
学部	選択科目 共通専門 関連科目	ビジュアルデザイン概論 ビジュアルデザイン論	2	講義	笹原浩造	准教授	単独	アートディレクター、化粧品会社宣伝部勤務 (1986～2010年)	269 321
		視覚伝達概論A 視覚伝達論A(印刷)	2	演習	赤嶺雅	教授	単独	グラフィックデザイナー、民間企業(情報通 信機械器具製造業、印刷業)デザイン室勤 務(1986～1992年)	270 322
		視覚伝達概論B 視覚伝達論B(映像)	2	演習	仲本賢	教授	単独	映像作家	271 323
		環境造形概論 環境造形論	2	講義	宮里武志	准教授	単独	設計事務所主宰、建築設計事務所等勤務 (1994～2002年)	281 324
		日本美術史	2	講義	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員(1989～1994年)	311
		東洋美術史	2	講義	金 恵信	教授	単独	美術批評家	312
		西洋美術史B	2	講義	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	314
		CG基礎	2	演習	真喜志康一	非常勤講師	単独	デザイン事務所経営	326
絵画専攻	必修科目 主要科目	日本画Ⅳ	14	実技	平山英樹 香川亮 関谷理	教授 准教授 講師	複数	日本画家 画家 日本画家	23
		油画Ⅳ	14	実技	知花均 高崎賀朗 阪田清子	教授 教授 准教授	複数	版画家 画家 画家	44
		彫刻Ⅳ	14	実技	波多野泉 砂川泰彦 河原圭佑 長尾恵那	教授 教授 講師 講師	複数	彫刻家 彫刻家 彫刻家 彫刻家	79
		彫刻特論Ⅱ	2	講義	波多野泉 砂川泰彦 河原圭佑 長尾恵那	教授 教授 講師 講師	オムニバス	彫刻家 彫刻家 彫刻家 彫刻家	81
芸術学専攻	選択科目 主要科目	芸術学演習Ⅰ	4	演習	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	103
		芸術学演習Ⅱ	4	演習	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	103
		日本美術史演習Ⅰ	4	演習	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員(1989～1994年)	104
		日本美術史演習Ⅱ	4	演習	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員(1989～1994年)	105
		東洋美術史演習Ⅰ	4	演習	金 恵信	教授	単独	美術批評家	106
		東洋美術史演習Ⅱ	4	演習	金 恵信	教授	単独	美術批評家	106
		芸術学特講	2	講義	土屋誠一	准教授	単独	美術批評家	119
		東洋美術史特講	2	講義	金 恵信	教授	単独	美術批評家	120
		日本美術史特講	2	講義	小林純子	教授	単独	公立博物館学芸員(1989～1994年)	121
デザイン専攻	必修科目 主要科目	デザインⅢ-I	7	実技	笹原浩造	准教授	複数	アートディレクター、化粧品会社宣伝部勤務 (1986～2010年)	144
					高田浩樹	准教授	単独	デザイン事務所主宰	
					又吉浩	准教授	単独	アニメーション作家	
					宮里武志	准教授	単独	設計事務所主宰、建築設計事務所等勤務 (1994～2002年)	
					赤塚 美穂子	講師	複数	プロダクトデザイナー、コイズミ照明株式会 社 勤務(2006年～2020年)	
					(インターンシップ)		複数	インターンシップA・B	
					又吉浩	准教授	単独	アニメーション作家	
		デザインⅢB	7	実技	高田浩樹	准教授	単独	デザイン事務所主宰	151 150
					仲本賢	教授	複数	映像作家	
					又吉浩	准教授	複数	映像作家	
デザインⅢ-II			赤嶺雅	教授	複数	グラフィックデザイナー、民間企業(情報通 信機械器具製造業、印刷業)デザイン室勤 務(1986～1992年)			
(インターンシップ)					複数	インターンシップC・D			
工芸専攻	必修科目 主要科目	染Ⅲ	14	実技	名護朝和	教授	複数	染色家	197
					宇良京子	講師		染色家	
		織Ⅲ	14	実技	真栄城興茂	教授	複数	染織家、織工房主宰	217
					花城美弥子	准教授		染織家	
					久保田寛子	准教授		染織家	
		陶芸Ⅲ	14	実技	山田聡	教授	複数	陶芸家	237
					島袋克史	講師		陶芸家	
漆芸Ⅲ	14	実技	水上修	教授	複数	漆芸家	260		
			當眞茂	准教授		漆芸家			

專門教育科目

主要科目

專攻專門関連科目

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名	
25102	絵画（工）	2単位・前期	1	演習	香川 亮	非常勤講師

■テーマ 様々な素材と様々な絵画技法（写真技法含む）による絵画制作

■授業概要

前半は、写真技法（フォトグラム）や様々な絵画技法（直接表現・間接表現）による作品制作を行う。後半では、素材と技法の応用表現研究として、前半に制作した作品素材と各自が収集した身近な素材（自身の研究領域を含む）を制作材料とした絵画技法（コラージュ）による課題制作に取り組む。授業を通して、基礎的かつ一般的包括的な絵画表現について学ぶ。

■到達目標

- ・様々な絵画技法（写真技法含む）を実践体験し、絵画表現について理解を深め作品制作を行うことができる。
- ・素材と技法の応用表現研究となる課題制作について理解し絵画作品として表現することができる。
- ・論理的に口頭での発表や記述を行うことができ、他者とのコミュニケーションを円滑に行うことができる。

■授業計画・方法

1. 授業ガイダンス、写真技法（フォトグラム）の準備、説明
 2. 写真技法（フォトグラム）による制作：撮影工程、素材の応用
 3. 写真技法（フォトグラム）による制作：現像工程・停止工程・定着工程
 4. 写真技法（フォトグラム）による制作：仕上げ、応用表現、完成
 5. 様々な絵画技法の準備、説明、制作：①フロッターージュ、②パチック
 6. 様々な絵画技法の準備、説明、制作：③デカルコマニー、④スパッターリング
 7. 様々な絵画技法の準備、説明、制作：⑤マーブリング
 8. 様々な絵画技法の準備、説明、制作：⑥モノタイプ
 9. 課題「様々な絵画技法及び写真技法による作品と身近な素材の再構成による絵画制作」準備、説明
 10. 絵画技法（コラージュ）による課題制作：発想及び構想計画
 11. 絵画技法（コラージュ）による課題制作：コンセプトの立案
 12. 絵画技法（コラージュ）による課題制作：制作途中作品の中間チェック
 13. 絵画技法（コラージュ）による課題制作：素材と技法の応用、展開
 14. 絵画技法（コラージュ）による課題制作：仕上げ、完成、コメントペーパー作成
 15. ディスカッション会場設営、ディスカッション、成果作品及びコメントペーパー提出、片付け
- ※定期試験は実施しない。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・実習時に必要となる身近な素材（自身の研究領域を含む）は各自で収集を行う。
- ・受講に際して実習材料費を徴収します。※内訳は実習期間中に連絡し残額は返金します。

■成績評価の方法・基準

□方法 成果作品（フォトグラム作品、様々な絵画技法による作品ファイル、課題作品）60%、平常点（制作の取り組み）40%による総合評価

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

- テキスト 授業内にプリント「写真技法（フォトグラム）」、「様々な絵画技法」を配布する。
- 参考文献 『アートスクールシリーズ ミクストメディア 用語と基礎知識』著者 マイカル・ライト (Michael Wright), 訳者 石関一夫, 美術出版社, 1995年
- 参考資料：学生参考作品

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
25112	描写	1単位・前期	1	実技	佐藤 文彦(非)

■テーマ 細密描写による鉛筆デッサンおよび点描表現

■授業の概要

モチーフを立体的にとらえ、その構造や位置関係から形を学びとり、質感も含めて細密に鉛筆で描写する技法を学ぶ。さらに物を造形的にとらえ、点描により意匠的表現方法を習得する。

■到達目標

- ・モチーフを良く観察し、細密描写することができる。
- ・細密描写に点描を加え意匠表現ができる。

■授業計画・方法

1. 描写についてのレクチャー
 2. 五感を使って観察する
 3. 自然物の造形、構造
 4. スケッチについて
 5. スケッチを行う
 6. 様々な自然素材、質感
 7. 細密描写について
 8. 美術作品の鑑賞
 9. 細密描写による作品制作
 10. モチーフの捉え方
 11. 点描について
 12. 点描による作品制作
 13. 意匠的な表現方法
 14. 仕上げ
 15. 講評・レポート提出
- 定期試験は実施しない。

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・自然物 (鉱物、貝類等) の質感を留意しておく。
- ・点描に関する作品や書籍等を見て表現のイメージをつくっておく。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点 (30%)、提出物 (20%)、作品 (50%)。平常点は授業への参加状況、レポート等の提出物、完成作品により総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献(資料)等

- 参考資料：佐藤文彦『遙かなる御後絵』作品社
- 参考文献：点描に関するプリント等を教員が配布する。

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
25113	色彩	1単位 前期	1	実技	佐藤 文彦 (非)

■テーマ 東洋画「肉理紋」描法による細密彩色肖像画制作

■授業の概要

「描写」の細密表現を踏まえて、彩色による人物と服装・装飾の細密表現を琉球時代の表現方法「肉理紋」描法を学ぶ。その中で顔・毛髪の人物部分の質感と、服装・装飾部分の文様表現の均衡に留意して意匠的表現方法を習得する。

■到達目標

- ・人物を良く観察して、肌や顔の部位を彩色による細密描写ができる。
- ・人物と服飾の模様や装飾品等の質感表現との均衡を取って意匠表現ができる。

■授業計画・方法

1. 色彩についてのレクチャー
 2. 美術作品の鑑賞
 3. 描写する人物の選択と服装・装飾の構成
 4. 人物写真の印刷とアイデアスケッチ
 5. 下図制作、セロファンへの転写、薄紙への転写・素描
 6. 本画制作、和紙への骨描き
 7. 下塗り（地塗り）
 8. 肌部分（顔面、手）の描写
 9. 毛髪部分の描写
 10. 服装、装飾品等の描写
 11. 肉理紋（色彩細密描写）について
 12. 肉理紋による作品制作
 13. 服装、装飾文様の意匠的表現
 14. 仕上げ
 15. 講評・レポート提出
- 定期試験は実施しない。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・基本的な人物の上半身、特に顔から胸部、腕の骨格と筋肉について把握しておく。
- ・和柄や民族衣装などの伝統模様について留意しておく。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点（30%）、提出物（20%）、作品（50%）。平常点は授業への参加状況、レポート等の提出物、完成作品により総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

□テキスト：「朝鮮の『御眞』描法と琉球の『御後絵』描法の共通性」（佐藤文彦著）を教員が配布。

□参考文献：佐藤文彦『遙かなる御後絵』作品社 東洋画の基本描法等を適宜プリント、配布する。

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
25114	立体構成	1単位・前期	1	実技	當眞 茂 國吉 聡 (非)

■テーマ 異素材を組み合わせたオブジェ制作

■授業の概要

木材とポリスチレンパネル、アルミスクリーンを組み合わせて、自由なオブジェをデザインし制作する。

■到達目標

- ・木やその他の素材を組み合わせて自立可能な構造物を制作することで、各素材の特性を理解し創造力を高めることができる。
- ・異素材を組み合わせることでデザインの可能性を追求し、自身の感性を磨くことができる。

■授業計画・方法

1. 素材や道具の説明
 2. 参考作品やデザイン作品集の鑑賞
 3. アイデアスケッチ
 4. 簡易的な模型を作りアイデアを確認
 5. アイデアを修正しアイデアスケッチの完成
 6. 素材のカッティング加工
 7. 素材の曲げ加工
 8. 素材パーツ接着部分の具体的検討
 9. 素材パーツ接着部分の加工
 10. 素材パーツの仕上げ
 11. 組み立て・接着
 12. 全体の最終調整・修正
 13. 全体の仕上げ
 14. プレゼンテーション及び講評会
 15. レポート提出
- 定期試験は実施しない。

■履修上の留意点

- ・全日程参加すること。
- ・レポートはA4サイズで提出。

■成績評価の方法・基準

- 方法 平常点（授業への参加状況 30%）、作品とレポートの提出（70%）による総合評価。
- 基準 授業への取り組みを踏まえ、作品の完成度を総合的に評価する。到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

- 参考文献 パンダグラフ『造形工作アイデアノート』グラフィック社
朝倉直巳 編・著『芸術・デザインの立体構成』六耀社
- 参考資料 授業内で作品集の提示、関係資料の配布

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
25103	彫刻(工)	2単位 前期	1	演習	砂川 泰彦

※工芸専攻（平成30年度入学生以降）のみ受講可

■テーマ 彫刻の量塊と構造「石の種」

■授業の概要

「種」をテーマに、塑造技法(modeling)によるエスキース制作を行い、琉球石灰岩を素材に石彫技法(carving)によって作品へと発展させる。作品制作、彫刻作品鑑賞を通して、基礎的かつ一般的包括的な彫刻表現の概要を学び、“触覚的”な対象の捉え方、表現方法を理解する。

■到達目標

- ・ 彫刻における量塊と構造を理解する。
- ・ 彫刻作品における全体と部分の関係を理解する。
- ・ 彫刻におけるモデリング(modeling)とカービング(carving)の特性を理解する。

■授業計画・方法

1. ガイダンス、構想：想像や心情を基にアイディアスケッチを描き独創的な構想を練る。
2. エスキース粘土制作：粘土素材の可塑性から生まれる形の美しさを感じ取る。
3. エスキースの石膏取り：石膏の特性と扱い方を理解する。
4. 鑿づくり：石鑿づくりをとおして日本の鍛冶技法を体験する。鞆の構造、扱い方を学ぶ。
5. 鑿づくり：石鑿の成形から焼き入れなどの一連の鍛冶技法を体験する。
6. 粗彫り：石膏エスキースを石に描く。電動ドリルなどの正しい使い方を理解する。
7. 粗彫り：コヤスケや鑿で石を彫る手法を理解、習得する。道具の正しい使い方を理解する。
8. 粗彫り：鑿で石を彫る手法を理解、習得する。作品の構想の確認。
9. 粗彫り：彫刻作品における全体と部分の関係を意識する。
10. スライド及び参考作品鑑賞：日本、アジア、西洋の彫刻及び琉球王国時代の石造物、彫刻作品の鑑賞
11. 仕上げ：ビシャン、刃トンボの扱い方を学ぶ。彫刻作品における全体と部分の関係を理解する。
12. 仕上げ：ビシャン、刃トンボを使い完成を目指す。彫刻表現におけるカービングの特性を理解する。
13. 磨き：砥石によって研磨され、変化する素材（琉球石灰岩）の美しさを確認し、完成度を高める。
14. 磨き・仕上げ：作品を深く見つめ、完成度を高める。
15. 講評、自己評価とディスカッション、作品記録、後片付け
定期試験は実施しない。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

危険防止のため作業に適した服装で臨むこと。（事前に適宜指示する。）

■成績評価の方法・基準

- 方法 平常点（制作への取組）40%、成果作品（石膏像）60%による総合評価
- 基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。
作品の完成度、独創性は評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

- テキスト プリント「石膏取り」
- 参考文献 A. Coliva “Bernini Scultore. La Tecnica Esecutiva” De Luca Editori d’Arte、吉村作治(監修)『カイロ博物館 古代エジプトの秘宝』(株)ニュートンプレス、『世界美術大全集』小学館
- 参考資料 本学芸術資料館所蔵作品、学生参考作品

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
25104	デザイン (工)	2単位 前期	1	演習	當眞 茂 仲本 賢 赤嶺 雅

※ 工芸専攻（平成30年度以降入学者のみ）受講可

■テーマ 工芸表現を活用してデザインの基礎を学ぶ。

■授業の概要

工芸表現を活用してデザインの基礎を総合的かつ包括的に学習する。様々な撮影方法と表現方法を学び、さらにパーソナルコンピュータを使用して、主にAdobe Photoshop と同社Illustrator の両画像編集ソフトの学習をしながら、モチーフの観察・制作（インプット）から、紙媒体や映像メディアへの出力（アウトプット）までを、一貫して学習する。工芸専攻の学生として作成した作品を撮影、入力、編集、出力を通して、デザインの過程を学習する。

■到達目標

- ・デザインの役割や平面構成、色彩構成としての基礎を理解することができる。
- ・映像機器（写真機、動画撮影機器）を使用して基本的な視覚デザイン表現ができる。
- ・コンピュータを使用し、印刷などの紙媒体の視覚伝達表現を実践的に活用することができる。

■授業計画・方法

1. 授業ガイダンス。デザインの社会的役割
2. 平面構成（面と線、構図と空間の構成力）を学び、色彩構成（配色や効果について表現力）を学ぶ。（担当：赤嶺）
3. 映像機器の構造。照明及び周辺機器。（担当：仲本）
4. スタジオ撮影1。立体的な物体の効果的撮影方法。（担当：仲本）
5. スタジオ撮影2。自己作品の個別撮影方法研究。（担当：仲本）
6. デジタル写真現像。RAWデータの現像処理。（担当：仲本）
7. デジタル写真現像。写真の修正（合成、変形）。（担当：仲本）
8. コンピュータ機器とOS解読。基本機能、基本用語について。（担当：赤嶺）
9. Illustrator 基本操作1。印刷サイズについて、図形及び文字打ちなどの操作。（担当：赤嶺）
10. Illustrator 基本操作2。ツール及び配色や効果、各種パレットの操作。（担当：赤嶺）
11. Photoshop 基本操作1。画像の取り込み、画像解像度、画像補正の解読及び操作。（担当：赤嶺）
12. Photoshop 基本操作2。画像加工について、各種パレットの解読及び操作。（担当：赤嶺）
13. ソフト併用操作。レイアウトの設定、画像配置の基本操作。（担当：赤嶺）
14. 出力機器の操作及び課題制作のアウトプット。（担当：赤嶺）
15. 講評及びデザインの役割についてディスカッション。

定期試験は実施しない。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・準備：デザイン基礎である平面構成、色彩構成の作品鑑賞や写真、コンピュータを理解する。
- ・復習：授業の中で行った講義及び実技はその日のうちに整理、復習を行う。
- ・展開：学んだ授業を実践的に作品へと展開し、具体的成果へと結びつける。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点(制作への取組)40%、成果物(プリント作品)60%による総合評価

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

□教科書 配布するプリント

□テキスト 特になし

□参考文献 『基礎造形シリーズ 芸術・デザインの平面構成』朝倉直巳著（六耀社）、『基礎造形シリーズ 芸術・デザインの色彩構成』朝倉直巳著（六耀社）等々

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
25101	工芸 I	7 単位・後期	1	実技	名護 朝和 山田 聡 非常勤講師 水上 修 真栄城 興茂

■**テーマ** 工芸の基礎的表現や素材に触れ、自己の思考を造形し工芸制作を行う。

■授業概要

染基礎①では、伝統技法である筒描き糊防染技法を用いて、綿と絹を素材に染色表現する。

漆芸基礎①では、鮑貝を使った螺鈿技法による平面作品（パネル）の制作を行う。

織基礎①では、織機や道具の仕組みを理解し織技術を学び、平織り技法を用いて布地を織り上げる。

陶芸基礎①では、原始的な土器制法をもって焼物の基礎知識を習得し、土の素材感、焼物の物質的変化を体感する。

■到達目標

- ・伝統的な工芸表現を理解し、自己の思考を形にした造形力を身につける。
- ・それぞれの技法や工程を理解し、その伝統的な表現の良さを生かし制作の構想を練ることができる。
- ・用具や道具の仕組みを理解し、意図に応じて活用することができる。
- ・自然と工芸のかかわり、生活や社会の中での工芸について考え、理解を深める。

■授業計画・方法

1. 「染基礎」課題①説明、布トレース、筒描、地入れ、染色、蒸し、水元
2. 課題②説明、イメージエスキース、草稿、草稿完成、布トレース、筒描
3. 筒描、地入れ、染色、蒸し、糊伏せ
4. 糊伏せ、地染、蒸し、水元、講評会
5. 「漆芸基礎」裏彩色、漆や螺鈿技法について、パネル研ぎ、摺漆
6. デザイン検討、置目取り、貝を切る、貝を貼りつける、浮きを直す
7. 漆塗込み1回目、研ぎ、漆塗込み2回目、研ぎ出し
8. 仕上げ研ぎ、摺漆、胴摺り、磨き仕上げ、講評会
9. 「織基礎」課題説明、糸繰り、意匠、織物設計、整経
10. 仮筥通し、経巻き、綜統通し、筥通し、織りつけ
11. 緯糸管巻き、製織、講評会
12. 「陶芸基礎」課題説明、シャモット作り、原土乾燥、シャモット焼成
13. シャモット原土粉碎、フルイかけ、作品エスキース作り
14. 作品制作開始、ビデオ観賞、作品完成、乾燥、焼成準備
15. 焼成、窯出し、講評会

定期試験は行わない

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・各実習の詳細については該当するページを見ること。やむを得ず欠席する場合は必ず学科室に連絡すること。
- ・各実習の終了時に作品を提出し、自己評価を含め講評を行う。講評を無断で欠席した者は評価しない。

■成績評価の方法・基準

【方法】 各課題の評価をもとに教員の合議により総合判定する

【基準】 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

- 教科書 各課題内で、必要に応じて指示する
- テキスト 各課題内で、必要に応じて指示する
- 参考文献 東京国立近代美術館工芸課編『工芸の見かた・感じ方』淡交社 沖縄美術全集 沖縄タイムス社

【実習名】 漆芸基礎①（螺鈿）

【期 間】 10月 2日(金) ～ 10月 27日(火)

【教 室】 首里崎山キャンパス工芸棟 基礎実技室

【担 当】 水上 修、新垣 奈央（非）、益崎 春香（非）

【課 題】 鮑貝を使った螺鈿技法による平面作品（パネル）の制作

【授業の概要】（テーマ） 螺鈿技法によるパネル制作

鮑貝を使った螺鈿技法による平面作品の制作を行う。本授業では箔の扱い方や薄貝螺鈿の代表的な技法“裏彩色”として、裏面に金箔を貼る技法も学ぶ。貝の貼付から塗り、研出、磨き仕上げまで、漆芸の加飾工程を作業を行う中で理解していく。また様々な螺鈿素材、その他加飾材料・技法や作品なども紹介し、幅広く漆芸全般に関する基礎知識を学ぶ。本授業の平面作品に対し、2年次の「乾漆」技法による立体造形作品の制作を行うことで、平面と立体の作品制作を体験しながら漆芸全般の特徴を理解し各自の適性を探る。

【到達目標】

- ・漆芸素材の特徴や制作工程を理解し、鮑貝を活かした平面作品として独自の表現ができる。
- ・漆芸全般の基礎知識を理解すると共に、一般的な絵画表現との違いを認識することができる。

【授業計画・方法】

1. 課題説明、漆・螺鈿技法・箔・裏彩色についてのレクチャー
 2. パネル研ぎ、摺漆、デザイン検討及び決定
 3. 置目取り、貝を切る
 4. 貝を切り貼付け
 5. 貝を切り貼付け、浮いた貝を剥がす
 6. 貝を切り貼付け、浮いた貝の貼り直し、固め
 7. 黒呂色漆の塗込み（1回目）
 8. 駿河炭で水研ぎ、炭粉胴摺り
 9. 黒呂色漆の塗込み（2回目）、乾燥
 10. 駿河炭で研ぎ出し（8割）、摺漆
 11. クリスタル砥石＃1500で仕上げ研ぎ、摺漆
 12. クリスタル砥石＃2000で最終仕上げ研ぎ、摺漆
 13. 胴擦り、摺漆
 14. 磨き仕上げ
 15. 掃除、講評会
- 定期試験は実施しない。

【成果物】

- ・螺鈿加飾のパネル、レポート

【評価の方法・基準】

- ・ 方法 平常点（授業への参加状況）30%、課題作品とレポートの提出70% による総合評価
- ・ 基準 漆芸素材の特徴や制作工程を理解し、独自の表現ができているか。
到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献（資料）等】

- 作品・図録、道具等を紹介する。
- 参考文献 東京国立近代美術館工芸課編『工芸の見かた・感じ方』淡交社
荒川浩和『螺鈿』同朋舎

【実習名】 織基礎①**【期間】** 10月28日(水)～11月25日(水) 計18日間**【教室】** 工芸実技室 織実技室1**【担当】** 真栄城 興茂、大濱 真子 (非)**【課題】** 織機や織道具の仕組みを理解しながら、実習を通して織技術を学び、布地を織り上げる。**【授業概要】** (テーマ)

基本である平織を通して、経・緯糸の準備、織機の準備や製織技術を学ぶ。

【到達目標】

- ・素材である糸(綿糸)の適切な扱い方を学ぶ。
- ・経糸の準備の工程を理解し適正な作業方法を学ぶ。
- ・適正な織技術と織機や道具の使用法を習得する。

【授業計画・方法】

- 1 **【課題説明】** 昨年までの授業資料を参考にしながら、使用する糸の理解を深める。
 - 2 **【映像鑑賞】** 沖縄の織物作品制作の映像を鑑賞し理解を深める。
 - 3 **【資料調査・意匠設計】** 見本裂や作品集等を閲覧し、縞のデザインを学び図柄を決定する。
 - 4 **【織機・道具】** 織機や織道具の使用法や注意点を学ぶ。
 - 5 **【糸繰り】** 糸を木枠に巻く際の分け方や糸はたき等の手法を学ぶ。
 - 6 **【整経】** 図案に沿って地の経糸、縞の経糸のテンションを保ちながら糸を揃える。
 - 7 **【仮筵】** 経併糸、縞、地糸を図案に合わせて織幅に割り込みする。
 - 8 **【経巻】** 併柄や全体のテンションに気を付け、機草(紙)を差しこみながら経糸を巻き取る。
 - 9 **【綜統】** 経糸の順番を間違えないよう、慎重に綜統通しを行う。
 - 10 **【筵】** 筵目を間違えぬよう気を付けながら筵通しを行う。
 - 11 **【緯糸の準備】** 適正な量の緯糸を小管に巻き取る。
 - 12 **【織付け】** 織幅に合わせて経糸を結び、織付け用の緯糸を織り込む。
 - 13 **【製織】** 経糸の張り具合に気を付け、織幅に注意しながら緯糸を織り込む方法を学ぶ。
 - 14 **【作品仕上げ】** 織上げた布の余分な糸を切り、始めと終わりの経糸をフサとして結ぶ。
 - 15 **【片付け】** 織機・織道具の適切な片付け方、収め方を学ぶ。
- 【作品評価】** 作品・レポートの提出、講習会

【成果物】

- ・木綿の縞の織布

【評価の方法・基準】**□方法**

課題作品80% レポート20%

□基準

- 意匠設計が各自のデザインと織物設計に結びついているか
- 素材である綿糸の扱い方が適切か
- 製織が適正になされているか
- 織機や道具類の扱い方が適切か

【テキスト・参考文献(資料)等】

- 参考資料** 織作品・見本裂 (染織資料室) 平良敏子の芭蕉布(DVD)、上原美智子のあけすば織(DVD)
- 参考文献** 日本民藝館所蔵 沖縄染織品 第1巻 田中俊雄蒐集 沖縄織物裂地 発行 沖縄県立芸術大学附属研究所

【実習名】 染基礎①**【期 間】** 11月26日(木)～12月21日(月) 18日間**【教 室】** 基礎実技室 共通染場**【担 当】** 名護 朝和 赤嶺 知咲(非)**【課 題】** 課題①「縞」 課題②「自然現象」をテーマに筒描で表現。**【授業概要】** (テーマ)

本授業では、伝統技法である筒描き糊防染技法を用いて、綿と絹の布素材に表現展開する。

【到達目標】

- ・ 基本的な筒描、糊防染技法を習得することができる。
- ・ 素材と技法・工程、道具や化学染料の特性について理解することができる。
- ・ 自然現象を題材にイメージ構築し、布素材へ表現展開することができる。
- ・ 伝統技法について理解を深める。

【授業計画】

- 1 課題説明 (伝統技法の解説)
- 2 縞をテーマにイメージエスキース
- 3 綿布ヘトレース 防染技法についての解説
- 4 筒描き実践 (課題①「縞」)
- 5 直接染料について解説 綿布地入れ 直接染料の準備
- 6 染色実践 (課題①「縞」) 化学染料の定着方法と水元について
- 7 課題①蒸し・水元の実践
- 8 自然現象をテーマに図案構想、工程の確認
- 9 図案作成と工程の確認 (教員による個別指導)
- 10 絹ヘトレース 酸性染料について解説
- 11 筒描き実践 (課題②「自然現象」) 酸性染料の準備
- 12 染色実践 (課題②「自然現象」)
- 13 染色作品鑑賞 (友禅染着物)
- 14 課題②蒸し・水元の実践
- 15 講評会 レポート提出

【成 果】 木綿「縞」作品1点、絹「自然現象」作品1点、レポート**【評価の方法・基準】**

方法 作品提出(70%)、平常点(20%)、講評会での発言及びレポート(10%)で総合的に評価する。

基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献(資料)等】

参考文献 手描友禅染の技法と技術 染織と生活社

【実習名】 陶芸基礎①

【期間】 12月22日～1月29日 17日間

【教室】 首里崎山キャンパス 工芸棟基礎実技室・陶芸分野野外作業場

【担当】 山田 聡、増田 良平（非）

【課題】 土器制作

【授業の概要】（テーマ）

原始的な土器制法をもって、焼物の基礎知識を習得する。また、この課題を通して土の素材感、焼物の物質的变化を体感する。

【到達目標】

- ・土器土の扱いに留意して制作ができること。
- ・素材感を生かした造形が行えること。
- ・制作から焼成までの工程を理解できること。

【授業計画】

土器

1. ガイダンス、課題説明
2. シャモット作り① 原土調整と乾燥
3. シャモット作り② シャモットの焼成
4. シャモット作り③ シャモット原土粉碎 フルイかけ
5. 杯土作り（足練り）
6. 作品エスキース
7. 作品エスキースの個別指導
8. 作品制作解説（ビデオ観覧 ※予定）
9. 制作実践① 基礎
10. 制作実践② 応用
11. 作品完成 乾燥
12. 焼成準備（窯作り、薪整備）
13. 焼成（露天焼成、おおよそ800℃を目標）
14. 窯出し 清掃
15. 講評会

※悪天候によるスケジュールの変更等あり。

【成果物】

- ・土器作品2点以上

【評価の方法・基準】

□方法：提出作品(60%)、平常点(20%)講評会での発言(20%)の比率で採点する。

□基準：到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【教科書・参考文献（資料）等】

陶芸分野収蔵資料パナリ焼（土器） 沖縄美術全集『陶芸』沖縄タイムス社

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
25209	工芸Ⅱ	5単位 前期	2	実技	眞茂 茂 花城 美弥子 非常勤講師 島袋 克史 宇良 京子

■テーマ 工芸技法や素材について学び、作品制作を行う。

■授業概要

漆芸基礎②では、自然を発想のもとにして「美しい形」をテーマとした、乾漆技法による立体造形作品の制作を行う。
 染基礎②では、型染め技法の白地型を理解し、日常生活で使う道具を主題にして一枚の型紙で模様を構成する。
 陶芸基礎②では、タタラ成形中心に制作を行い、そのプロセスを習得し、陶土や釉薬の素材的性質を理解する。
 織基礎②では、綴れの基礎となる直線、斜線、曲線の織り方を習得し、自由に意匠設計したタピストリーを制作する。

■到達目標

- ・工芸の様々な表現や素材に触れ、その特徴を理解し、工芸表現における造形力を身につける。
- ・それぞれの技法や工程を理解し、個性豊かな工芸作品を制作する。
- ・工芸の伝統と文化についての理解を深め、社会における工芸の有用性について思考できる。

■授業計画・方法

1. 「漆芸基礎」課題説明、乾漆技法について、デザイン検討、モデルでの検討
2. 原型制作、麻布貼り1枚目、布貼り2枚目、布貼り3枚目、布貼り4枚目
3. 下地付け、脱乾、細部成形、錆地模様付け、水研ぎ、下地固め
4. 下塗り、中塗り、上塗仕上げ、講評会
5. 「染基礎」課題説明、型染めについて、スケッチ
6. スケッチ、草稿、色草稿トレース、型彫り、染色
7. 蒸し、水元、パネル張り仕上げ、講評会
8. 「陶芸基礎」課題説明、デモンストレーション、アイデアスケッチ
9. 制作開始、作品乾燥
10. 素焼き窯詰め、素焼き、施釉、本焼き窯詰め
11. 本焼き焼成、窯出し、陶磁器についての講義、講評会
12. 「織基礎」課題説明、基本織り意匠設計
13. 基本織り用緯糸精練、染色、経糸準備、織りつけ
14. 基本織り、課題作品意匠設計、緯糸準備、課題作品整織、仕上げ、講評会
15. 工芸素材研究
定期試験は実施しない。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・各実習の詳細については該当するページを見ること。やむを得ず欠席する場合は必ず学科室に連絡すること。
- ・各実習の終了時に作品を提出し、自己評価を含め講評を行う。講評を無断で欠席した者は評価しない。

■成績評価の方法・基準

方法 各課題の評価をもとに教員の合議により総合判定する

基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

教科書 各課題内で、必要に応じて指示する

テキスト 各課題内で、必要に応じて指示する

参考文献 各課題内で、関係資料の配付、DVD鑑賞等を行う

【実習名】 漆芸基礎② (乾漆)

【期 間】 4月8日 (水) ~4月24日 (金)

【教 室】 首里崎山キャンパス工芸棟 基礎実技室

【担 当】 當眞 茂、新垣 奈央 (非)、益崎 春香 (非)

【課 題】 乾漆作品の制作

【授業概要】 (テーマ) 乾漆技法による立体造形作品の制作

自然を発想のもとにして「美しい形」をテーマとした立体造形作品を制作する。展示方法やテクスチャーも考えること。造形したレリーフ状とする。

【到達目標】

- ・ 乾漆技法による立体造形作品制作をとおして漆素材の特徴を理解し各自の漆芸表現が的確にできる。
- ・ 立体造形作品制作をとおし漆素材の特徴である「塗料であり、接着剤である」ことを体験し理解できる。
- ・ 漆芸技法で平面・立体作品制作を体験し漆芸全般の特徴を理解する中で各自の適性を探ることができる。

【授業計画】

1. 課題説明、乾漆技法についてのレクチャー
2. デザイン検討、モデルでの検討、デザイン決定
3. 原型制作
4. 麻布貼り1枚目、空研ぎ、麻布貼り2枚目
5. 空研ぎ、麻布貼り3枚目、空研ぎ
6. 布目擦り、空研ぎ、下地付け1回目
7. 空研ぎ、下地付け2回目、細部成形
8. 空研ぎ、下地付け3回目、細部成形
9. 生漆で下地固め、脱乾
10. 細部成形
11. 錆地模様付け (テクスチャー)
12. 下塗り (黒蠟色漆)、水研ぎ (耐水ペーパー #800)
13. 中塗り (黒蠟色漆)、水研ぎ (耐水ペーパー #800)
14. 上塗り、水研ぎ (耐水ペーパー #1500)、胴摺り
15. 胴摺り、摺漆、磨き仕上げ、講評会

【成果物】

- ・ 乾漆作品、レポート

【評価の方法・基準】

□方法 平常点 (授業への参加状況 30%)、課題制作とレポートの提出 (70%) による総合評価

□基準 乾漆技法による立体造形作品制作をとおして漆素材の特徴を理解することができたか。到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

【テキスト・参考文献 (資料) 等】

- 参考文献 小松大秀/加藤寛『漆芸品の鑑賞基礎知識』至文堂
DVD 文化庁『髹漆- 増村益城のわざ-』日経映像
- 参考資料 作品・図録、道具 等を紹介する。

【実習名】 染基礎②

【期間】 4月27日(月)～5月19日(火) 13日間

【教室】 染工房ⅡA 共通染場

【担当】 宇良 京子 泉 佳那(非)

【課題】 一枚型で連続模様を構成、染色。ファブリックパネルに仕上げる。

【授業概要】(テーマ)

日常生活で使う道具を主題に模様構成。型染めの特徴がより強く出せる白地型、白地仕上げを目標に模様のフォルムを考える。一枚型に配置された模様が、繰り返し糊置きを行う事でリズムある画面に成るよう構成し、綿を素材に染料で彩色。独自の色彩構成のパネルに仕上げる。

【到達目標】

- ・型染めの基礎的な型彫、糊防染法の材料の基礎知識を学ぶ。
- ・対象物である道具をしっかりと観察、スケッチしたうえで道具の美しさや特性をとらえオリジナルなデザイン(図案)を創り出す。
- ・パターンの繰り返しから生まれるフォルムの発見を重視しながら平面構成や連続模様の考え方など、型染での造形力と染色材料の基礎知識を学び染色作品全般への興味を深める。

【授業計画・方法】

- 1 課題説明、型染めの分類と基本技法のレクチャー
- 2 モチーフについてのディスカッション(5～6人のグループに分かれる)
- 3 モチーフを取り込んでの構成
- 4 白地型としての構成確認 修正
- 5 白黒草稿
- 6 色草稿
- 7 型紙へのトレース、型彫
- 8 連続紋様の柄合わせ確認、型彫
- 9 型糊の調合、糊置き、乾燥・基本色作り
- 10 地入れ液の調合、地入れ、乾燥・混色調合・試色
- 11 淡色染色
- 12 濃色染色
- 13 全体のトーン調整
- 14 蒸し/水元 パネル仕上げ
- 15 パネル作品の講評

【成果物】

- ・A2サイズパネル張り仕上げの作品 ※サイズを変更する場合があります

【評価の方法・基準】

□方法 提出作品60%・平常点30%・レポート10%

□基準

型彫・糊防染の基本的知識を習得したか。

モチーフとして選んだ道具を観察し特徴を捉え、積極的に独自の図案構成に取り組んだか。

一枚型の連続糊置きをする事で独特のリズムや色彩諧調が表現できたか。

【テキスト・参考文献(資料)等】

□教科書 特になし

□テキスト 資料プリントを配布

□参考文献 鎌倉芳太郎資料集 第一巻～第二巻(沖縄県立大学附属研究所)

シリーズ『染織の文化』染めの事典(朝日新聞社)

染色の挑戦・芹沢銈介 世界は模様で満ちている(別冊太陽 日本の心)

□参考資料 参考型染め作品 資料DV

【実習名】 陶芸基礎②

【期間】 5月20日～6月9日 15日間

【教室】 首里崎山キャンパス 工芸棟 1F 陶磁器制作室 焼成室

【担当】 島袋 克史、杉山 早苗 (非)

【課題】 凹凸のある焼き物

【授業の概要】 (テーマ) 陶磁器の基礎制作を通してその構造を知る！

【到達目標】

- ・陶磁器の制作技法の基礎を理解すること。
- ・タタラ成形中心に制作を行い、陶土や釉薬の素材的性質を理解すること。
- ・陶磁器が出来上がるまでのプロセスを習得すること。

【授業計画】 陶芸基礎②

1. 課題説明、アイデアスケッチ
 2. 加飾に用いる道具の制作 (ローラー印棒など)、焼成 (800℃)
 3. 制作デモンストレーション、
 4. 模擬制作とフィードバック
 5. 器物の基本的な制作方法基礎 (作品制作)
 6. 器物の基本的な制作方法応用 (作品制作)
 7. 器物以外の基本的な制作方法基礎 (作品制作)
 8. 器物以外の基本的な制作方法応用 (作品制作)
 9. 作品乾燥、窯詰準備
 10. 素焼き窯詰、炙り焼成
 11. 素焼き ※電気窯800℃焼成
 12. 釉薬掛けの説明、作品への施釉
 13. 窯詰め、本焼き 1250℃ 酸化焼成
 14. 陶磁器講義、工房片付け
 15. 窯出し 講評
- *日程変更の可能性あり

【成果物】

- ・陶器作品3点以上

【評価の方法・基準】

□方法：提出作品(60%)、平常点(20%)講評会での発言(20%)の比率で採点する。

□基準：到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

。

【教科書・参考文献(資料)等】

- ・参考資料 陶芸分野収蔵資料
- ・参考文献 『陶芸を学ぶ』京都造形芸術大学編 角川書店

【実習名】 織基礎② 綴織**【期 間】** 6月10日(木)～6月29日(月)**【教 室】** 織工房2、共通染場、染織講義室**【担 当】** 花城 美弥子、大濱 真子 (非)**【課 題】** 綴織技法を使いタペストリー制作を行う。**【授業概要】** (テーマ)

綴織基礎：各自で染めた色糸と白いウールを使い、綴れの基礎となる直線、斜線、曲線の織り方を習得する。
又、応用技法のルーピング技法やノッティング技法も習得する。

タペストリー：自由に意匠設計し、タペストリーを制作する。

【到達目標】

- ・平織組織の緯糸効果による「綴織」の意匠設計と技法を学ぶ。
- ・下絵に応じて異なる色糸を部分的に入れて模様を織り出し、綴れ織特有の自由な織表現でタペストリーを制作する。
- ・経糸用の麻糸操作や緯糸用の羊毛染色実践を通して、繊維素材の特質を学ぶ。

【授業計画・方法】

- 1 課題説明
- 2 経糸準備 (整経)
- 3 仮葎通し 経巻き
- 4 綜統通し
- 5 葎通し
- 6 織付け
- 7 織出し
- 8 緯糸準備 (染色)
- 9 緯糸準備 (糸繰り)
- 10 基礎織 (平織・直線)
- 11 基礎織 (斜線・曲線)
- 12 基礎織 (ルーピング・ノッティング)
- 13 タペストリー・デザイン
- 14 タペストリー制作
- 15 仕上げ
講評、作品・レポート提出

【成果物】

- ・基礎織、作品、レポート

【評価の方法・基準】**□方法**

平常点20% 作品60% レポート20%。平常点は授業への参加状況で総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として履修規定に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

ウールの染色方法を理解し、安全面に気をつけて効率よく作業を行えたか。

綴織技法の基礎織、応用技法を理解し制作できたか。

レポートでは、工程や技法についてのまとめ、考察について述べられているかを総合的に判断する。

【テキスト・参考文献 (資料) 等】

- 参考資料 参考作品
- 参考文献 龍村平蔵の世界 発行 龍村美術織物研究所 株式会社龍村織物

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
25261	立体造形（工）	1単位・前期	2	実技	山田 聡 非常勤講師

※平成30年度以降の入学生(工芸専攻)対象科目

■テーマ グループワークによる立体作品制作

■授業の概要

1班4～6名でグループを構成し、各班で作品のテーマを設定し内容を議論。プレゼンテーションを重ねグループ制作の候補作品を決定し、実制作を行う。その際、作品素材の如何は問わない。

■到達目標

- ・工芸専攻学生が専門分野に関わらず、立体的作品の計画、制作が行えること。
- ・学生がお互いの造形感覚を尊重し、テーマに沿ったグループ制作が行えること。
- ・客観的な視野を持ち作品制作について考察できること。

■授業計画・方法

1. 課題説明 グループ分け
2. テーマ設定
3. エスキース
4. グループディスカッション：候補作品を決める
5. グループディスカッション：作品の仕様
6. グループディスカッション：素材、その他
7. 素材調達
8. グループディスカッション：制作方法
9. 作品制作開始
10. グループディスカッション：制作前半
11. 制作
12. グループディスカッション：制作の経過
13. 制作
14. 作品最終仕上げ
15. 全体ディスカッション 総括
定期試験は実施しない。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・ディスカッションを重ねて制作すること。
- ・素材などは、学生が計画し調達すること。

■成績評価の方法・基準

- 方法 作品60% 平常点40%（グループでの発言など）を総合的に判断し、採点する。
- 基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

- 教科書 特になし
- テキスト 特になし
- 参考文献 日比野克彦著「日比野克彦作品集」小学館

■学生準備

作業服、画材道具、制作に関わる道具など。

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
25262	版画	1単位 前期	2	実技	名護 朝和 赤嶺 知咲(非)

※平成30年度以降の入学生(工芸専攻)対象科目

■テーマ シルクスクリーンによる版表現

■授業の概要

版画は版を媒介として表現する絵画であるが、直接描く日本画や油絵などと異なり、版をつくり、紙などに転写する間接的な表現である。版画は制約が多いが工芸と同じで、その制約が独自の表現効果をもたらしている。実習では、染色の型染と同じ方法であるシルクスクリーン技法を用いて、各自の制作テーマによる孔版表現技法を生かした作品の制作を行う。また、孔版の歴史や特徴を理解し、作品制作を通して写真製版法の技法・技術を習得する。

■到達目標

- ・版画の形式と種類を理解し、その特徴や表現の違いなどについて認識を深める。
- ・孔版表現の特徴を理解し、写真製版法の技法を習得できる。
- ・孔版表現技法を生かした、各自のテーマによる作品制作ができる。

■授業計画・方法

1. 版画の形式と種類 スライドレクチャー（参考作品等）
2. 図案の作成（発想・アイデア）
3. 図案の作成（模様をつくる）
4. 図案の作成（原寸大草稿）
5. 版下作成の説明（透明フィルム、カッティングフィルム、コピー等）
6. 版下作成作業（前期）
7. 版下作成作業（後期）
8. 製版の説明（写真製版、直接感光法） 製版作業（感光乳剤）
9. 製版の完成 版の修正
10. プリント作業の準備（布貼り、色糊準備等）
11. プリントデモ（バタ塗り、グラデーション等） プリント作業（1色目の捺染）
12. プリント作業（2色目の捺染）
13. プリント作業（3色目の捺染）
14. 固着法の説明（熱処理等） パネル貼り
15. 清掃 合評会
定期試験は行わない

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・事前に各自のテーマに沿ったスケッチを用意する。
- ・版画に関する作品や書籍等を見て表現のイメージを構築する。

■成績評価の方法・基準

- 方法 平常点（40%）、作品（60%）。平常点は授業への参加状況等により総合的に評価する。
- 基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

- 教科書 特になし
- テキスト 必要に応じて指示する
- 参考文献 授業内で適宜指示、紹介する

科目コード 授業科目名 単位数・学期 受講年次 授業区分 担当教員名

25391	古美術研究	4単位 後期	3	演習	山田 聡 久保田 寛子	當眞 茂 宇良 京子
-------	-------	--------	---	----	----------------	---------------

■**テーマ** 古美術を研究し、教養を深める。

■**授業概要**

各自の研究を基に、学外に於いて主に日本の古美術に触れ、又博物館や美術館の収蔵品を見学し視野を広める。

■**到達目標**

- ・日本の主要とされている神社、仏閣及び古美術品を中心に鑑賞することで日本の芸術・文化を理解する。
- ・研究レポートにおいて事前に学習し資料を作成することで、研究内容をより論理的に記述できるようにする。

■**授業計画・方法**

1. 日本の古美術について
2. 沖縄の古美術について
3. 奈良国立博物館、興福寺
4. 東大寺（南大門、大仏殿、蓮弁登壇拝観、俊乗堂、法華堂、開山堂、二月堂、戒壇堂）
5. 法隆寺、薬師寺、唐招提寺、西大寺
6. 三十三間堂、京都国立博物館、清水寺
7. 京都市美術館、南禅寺、銀閣寺
8. 仁和寺、龍安寺、金閣寺
9. 京都文化博物館
10. 桂離宮、二条城
11. 伏見稲荷大社、平等院鳳凰堂
12. 延暦寺（国宝殿、根本中堂、文殊楼、釈迦堂）
13. 大谷崎山荘美術館
14. MIHO ミュージアム、東洋陶磁美術館
15. 国立民族学博物館、大阪日本民芸館、
定期試験は行わない

■**履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）**

- ・体調管理を怠らないで、全日程に参加すること。
- ・レポートはA4サイズ提出。
- ・レポートのテーマは特に設けないが、古美術に関連する内容で記述すること。
- ・事前授業（日本の古美術、沖縄の古美術について）を受講すること。

■**成績評価の方法・基準**

- 方法** レポート・事前作成資料 40%、平常点・研究姿勢 60%で総合的に評価する。
 □**基準** 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■**教科書・参考文献（資料）等**

- **教科書** 特になし
- **テキスト** 資料プリント適宜配布する
- **参考文献** 毛利和夫編『文化財の見方』

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
25392	デザインと素材	1単位 前期	3	実技	花城 美弥子 大濱 真子 (非)

※平成30年度以降の入学生(工芸専攻)対象科目

■テーマ

フェルトの帽子制作

■授業の概要

羊毛繊維の特質を学び、フェルトニードルを用いた羊毛の縮絨をおこない、帽子のデザイン制作を行う。
作品の成果発表を独自の展示方法を用いて行う。

■到達目標

- ・羊毛と縮絨の仕組みを理解して、フェルトニードル針を適切に使用することができる。
- ・素材の特性を理解した、デザイン性と縮絨性の高い作品を制作することができる。
- ・デザインと素材を生かした展示をする事ができる。

■授業計画・方法

1. 課題説明 (帽子のデザインについて・参考作品の鑑賞)
2. 材料・道具等：羊毛繊維の素材や加工に必要な道具等の取り扱い説明
フェルトニードル、ニードルカーダーの取り扱いについて
3. 羊毛・原毛の種類について
4. 羊毛の特性について、原毛から加工糸、機械紡糸や手紡糸について
5. 縮絨・フェルト化について：2種類の方法について
6. フェルトニードル針を使用して試作
7. ニードルカーダーの使用法と役割について
8. 繊維・色の混色について、ニードルカーダーを使い試作
9. 小物制作
10. 帽子のデザイン
11. 帽子制作
12. 仕上げ、縮絨・フェルト化の確認
13. 作品撮影
14. 作品展示
15. 作品展、講評会
定期試験は実施しない

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・自由な発想で帽子のデザインをする
- ・素材の特質を理解して、完成度の高いフェルトの帽子制作をする
- ・安全面に気をつけて効率よく作業を行う

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点40% 作品60%。平常点は授業への参加状況で、総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として履修規定に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する
制作への取り組み態度、素材の特質についての理解度、独創性のあるデザイン、作品の完成度や
作品展示への取り組み姿勢

■教科書・参考文献(資料)等

- 教科書 無
- テキスト プリント「羊毛と縮絨」
- 参考資料 参考作品